




**芦屋飛行場周辺まちづくり構想**  
～遠賀川駅周辺交流施設整備構想～

---



平成29年3月 福岡県 遠賀町



# 目次

はじめに.....	1
1 まちづくり構想の目的と対象区域.....	2
(1) まちづくり構想(交流施設整備構想)の目的.....	2
(2) 設置場所.....	2
2 基礎的条件の整理.....	3
(1) 本町及び地域の概要.....	3
(2) 立地する防衛施設.....	5
3 上位・関連計画の整理.....	7
(1) 第5次遠賀町総合計画(平成24年3月策定).....	7
(2) 遠賀町人口ビジョン及び総合戦略(平成27年度策定).....	8
(3) 遠賀町都市計画マスタープラン(平成22年度策定).....	8
(4) 遠賀町公共施設等総合管理計画(平成26年度策定).....	9
(5) 遠賀川駅南地区まちづくり構想(平成24年度策定).....	9
4 町民意向等の反映.....	11
(1) 検討の流れ.....	11
(2) 実施概要.....	12
5 まちづくりの課題.....	16
6 基本構想.....	17
6.1 基本理念及び基本方針.....	17
(1) 基本理念.....	17
(2) 基本方針.....	17
6.2 整備方針.....	18
6.3 施設運営方針.....	22
6.4 施設配置イメージ.....	23
7 今後の予定.....	24
8 参考資料.....	25
8.1 芦屋飛行場周辺まちづくり構想検討委員会.....	25
8.2 庁内検討ワーキングメンバー.....	27
8.3 まちづくり構想策定支援事業等について.....	28
8.4 町民等の意向把握の結果.....	29
(1) 住民意向ヒアリング.....	29
(2) 住民ワークショップ.....	30
(3) 職員ワークショップ.....	34
(4) 区長会.....	41
(5) 芦屋基地関係者ヒアリング.....	41
(6) 庁内検討ワーキング.....	44
(7) 検討委員会.....	46



## はじめに

遠賀町は九州北部に位置する人口約2万人の町です。古くから農村として栄えましたが、町内を東西に走る国道3号、JR 鹿児島本線による北九州都市圏や福岡都市圏への交通利便性の良さから宅地開発が進み、農村と団地が共存した町となっています。

北に隣接する芦屋町には、航空自衛隊芦屋基地が存在します。芦屋基地には、隊員の教育訓練などを行う第3術科学校や、戦闘機操縦者を育成する第13飛行教育団、有事の際に弾道ミサイルなどから地対空誘導弾ペトリオット・システムを用い国民の生命及び財産を守る第2高射群などの各部隊があります。

T-4 中等練習機による飛行訓練などのため、遠賀町では、航空機の騒音問題があるとともに、航空機部品落下事故などの危険にもさらされているため、住民の皆さんと基地との相互理解は欠かせない状況となっています。

住民の皆さんと基地の交流事業は積極的に行っているものの、現在はイベントなどでの一時的な交流しかありません。相互理解の醸成のためには、住民の皆さんと基地、隊員の皆さんが定期的に交流できる場が必要です。

現在、遠賀町では遠賀川駅南地区の開発を町の一大プロジェクトとして進めており、その中心となる JR 遠賀川駅を中心に、にぎわい空間を創出することが求められています。毎日約5,300人の利用がある JR 遠賀川駅の周辺をにぎわいの拠点と捉え、住民の皆さんと基地との交流の場にしていくことを、今回の構想の目的としています。

駅の周辺という、利用者が多く公共性の高い場所の利便性を生かし、効果的、効率的に地域の活性化、交流を実現していくための構想を策定しました。皆さまが「このまちに住んで良かった」と実感できる遠賀町を実現するため、今後も全力で取り組んでまいりますので、町政へのご支援、ご協力をお願いいたします。

平成 29 年 3 月

遠賀町長 原田 正武



# 1 まちづくり構想の目的と対象区域

## (1) まちづくり構想（交流施設整備構想）の目的

本町では、遠賀町総合計画に掲げる将来像「笑顔と自然あふれるいきいき“おんが” ～みんなで育む絆のまち～」の実現に向け各種取り組みを行っています。

本構想は、この「みんなで育む絆のまち」の実現に向け、防衛省所管の補助事業である「まちづくり構想策定支援事業」の採択を受け、自衛隊と周辺地域住民等との交流、地域の防災等の活動を企図したまちづくりとして、各種団体の活動やイベント等に活用される交流拠点施設について、町民等の意向を踏まえて、整備の方向性を取りまとめることを目的としています。

## (2) 設置場所

当施設は、多くの人に利用されることや周辺市街地への波及効果などを考慮し、町内唯一の鉄道駅でバス網の起点ともなり、中心的な市街地にも近接する遠賀川駅の周辺に設置するものとします。

### ■位置図



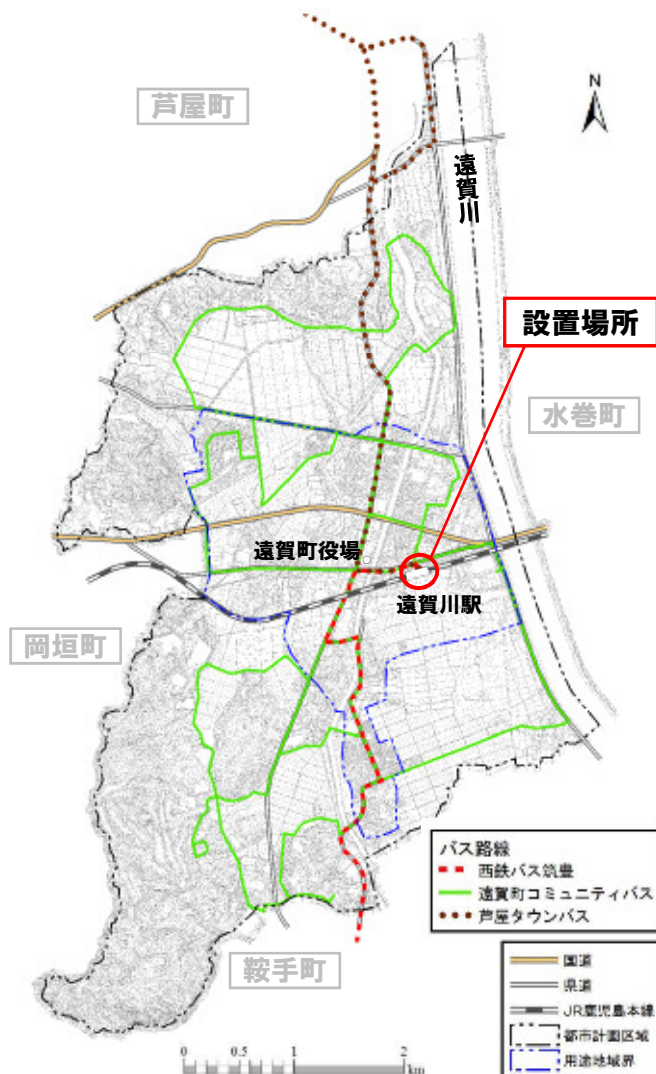
#### 高速道路でのアクセス

【福岡方面から】九州自動車道鞍手インターで降り、約20分。

【北九州方面から】九州自動車道門司インターから北九州都市高速道路に乗り換え、黒崎インターで降り、国道3号を福岡市方面へ約20分。

#### JRを利用したアクセス

JR 鹿児島本線遠賀川駅下車。普通電車で博多駅から約1時間。小倉駅から約30分。



## 2 基礎的条件の整理

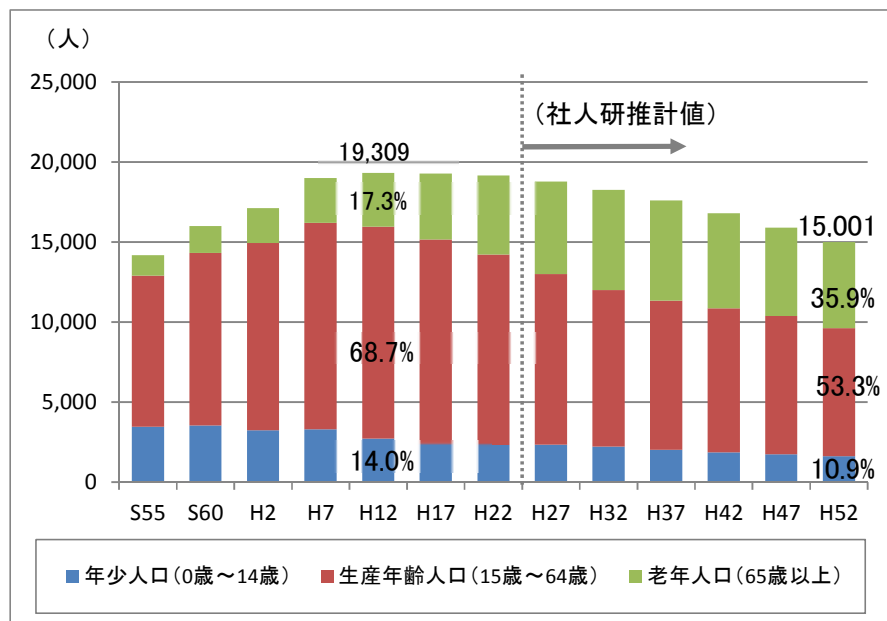
### (1) 本町及び地域の概要

#### ① 人口推移及び将来人口

- ・今後、人口は減少し、少子高齢化の傾向は一層進むことが予測される。

昭和40年代の新町を皮切りに、宅地開発が進み、平成12年のピーク時には19,309人にまで増加しましたが、その後は減少が続き、平成52年には15,000人にまで減少することが予測され、高齢化率は全体の35.9%にまで増加することが見込まれています。

#### ■人口推移と将来人口



資料: 国勢調査、国立社会保障人口問題研究所

#### ② 地形

- ・遠賀町らしい良好な田園に包まれる形で、市街地が形成されている。

遠賀町は、東端部に流れる遠賀川と、西端部に連なる遠賀山系に挟まれた平野部に、遠賀町らしい良好な田園に包まれる形で、市街地が形成されています。

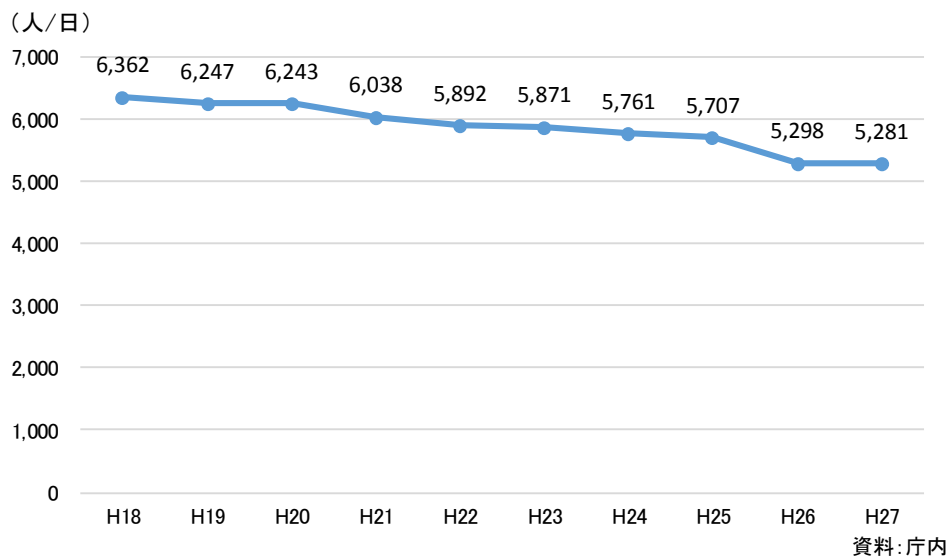
### ③ 遠賀川駅の乗降客数

- 往時は南北に鉄道が走り周辺地域一帯の交通を担っていた。現在は、遠賀川駅が町内唯一の鉄道駅となり、町の玄関口として重要な役割を果たしている。
- 遠賀川駅は、日平均 5,281 人の乗降客に利用されている。

遠賀川駅は明治 23 年に開業し、遠賀川駅を起点とした、芦屋軽便鉄道は貨車や客車として、国鉄芦屋線は米軍基地への物資や労務者の輸送のための路線として、国鉄室木線は明治時代から石炭や旅客の輸送線として、遠賀・鞍手一帯の交通を担ってきた時代がありました。

現在は J R 鹿児島本線のみとなり、本町唯一の鉄道駅として、広域交通・町の玄関口として重要な役割を担い、1 日あたり 5,281 人（平成 27 年度）の乗降客に利用されています。

#### ■遠賀川駅の乗降客数の推移(人/日)



以前の駅舎



現在の駅舎(昭和62年に洋風のデザインに改築)



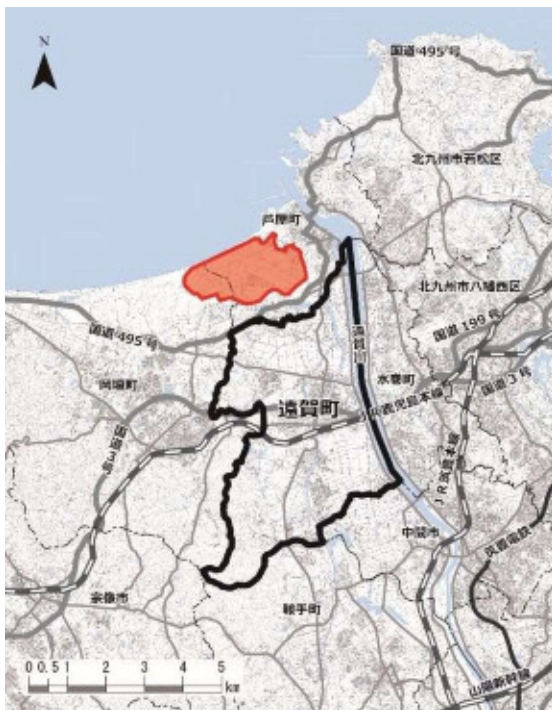
## (2) 立地する防衛施設

- 本町の北部には、福岡県遠賀郡芦屋町及び遠賀郡岡垣町にまたがり「芦屋飛行場（航空自衛隊芦屋基地）」が立地している。
- 芦屋基地隊員の町のイベントへの参加、町民等の芦屋基地でのイベントへの参加など、双方の交流活動が活発に行われている。

## ① 芦屋飛行場の概要

名称：航空自衛隊芦屋基地	面積：約 430 万㎡	人員等：約 1,300 人
使用部隊：西部航空施設隊、第 3 術科学校、芦屋救難隊、第 13 飛行教育団、第 2 高射群、芦屋気象隊、芦屋地方警務隊 等		
使用状況等：		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 芦屋基地は、福岡県遠賀郡芦屋町及び遠賀郡岡垣町にまたがり所在している。</li> <li>• 戦闘機パイロットを養成するための第 13 飛行教育団をはじめ、航空自衛隊における後方業務全般の教育機関である第 3 術科学校、滑走路の保安点検等を行う西部航空施設隊、航空事故発生時に乗員の捜索・救助活動を行う芦屋救難隊などがある。</li> <li>• 基地にはペトリオットミサイルを装備し、第 2 高射群 第 5、第 6 高射隊により西空防空の任務にあっている。</li> </ul>		

## ■ 芦屋飛行場の位置図



## ■ 芦屋飛行場周辺での部品落下事故

発生日	機種・内容
H25.7.11	T-4 練習機の部品落下
H25.7.23	UH-60J 救難ヘリの部品落下
H25.12.2	T-4 練習機の部品落下
H26.1.7	T-4 練習機の部品落下
H26.7.8	T-4 練習機の部品落下
H26.10.4	U-125A 救難捜索機の部品落下
H26.11.7	UH-60J 救難ヘリの部品落下
H26.12.10	T-4 練習機の部品落下

※発生場所は、いずれも芦屋飛行場及び周辺空域（推定）

## ② 芦屋飛行場との交流

- ① 航空祭での鉄道の玄関口（快速の臨時停車）【平成28年度実績 約5万4千人参加】

・シャトルバス（遠賀川駅～芦屋基地）駅前広場の利用

- ② 遠賀町民レガッタへの参加【約450人】

- ③ 遠賀町夏まつりでの太鼓の参加【約1万1千人】

・西部航空音楽隊の参加  
・芦屋基地太鼓部「鼓道」  
・町制50周年記念事業（平成26年度）による祝賀飛行

- ④ 遠賀郡消防合同出初式での芦屋基地消防隊の参加【約450名】

- ⑤ 芦屋基地への松の植樹活動【約150名】

- ⑥ ブルーインパルスの芦屋基地訓練移転時における隊員への宿泊地の提供

- ⑦ 航空機写真展

- ⑧ 芦屋基地第13飛行教育団の教官（ブルーインパルスの元パイロットなど）を招いて講演会を実施

- ⑨ 芦屋基地見学

- ⑩ CH-46体験搭乗

- ⑪ 芦屋基地納涼祭

※⑦、⑧の主催は写真愛好家のグループ（遠賀町民含む）



遠賀町夏まつり(西部航空音楽隊演奏)



遠賀町夏まつり(芦屋基地太鼓部演奏)



遠賀郡合同消防出初式(芦屋基地による炊き出し体験)

## 3 上位・関連計画の整理

### (1) 第5次遠賀町総合計画（平成24年3月策定）

・町の最上位の計画として幅広い施策が示されており、遠賀川駅周辺については「遠賀川駅を中心とした市街地の一体的な都市機能集積によるコンパクトな市街地を形成」を行うこととしている。

#### ■計画期間

基本構想：平成24年度～33年度 / 基本計画（前期）：平成24年度～28年度  
基本計画（後期）：平成29年度～33年度

#### ■将来像

笑顔と自然あふれるいきいき“おんが” ～みんなで育む絆のまち～

#### ■計画の概要

##### ◎自然と共生する快適なまちづくり

- ・災害時の被害を最小化する「減災」を考慮したハード・ソフト両面の「多重防御」の推進
- ・備蓄倉庫への計画的な物資の配備
- ・「遠賀町地域公共交通総合連携計画」に基づく、遠賀町コミュニティバスの路線・本数の見直し。利便性の向上等のためのさまざまな車両の活用を検討
- ・遠賀川駅を中心とした一体的な交通網の整備

##### ◎はつらつと生活できるまちづくり

- ・地域子育て支援拠点事業運営会議と連携した、子育て支援ひろば「ぐっぴい」の事業内容の検討
- ・老人クラブの活性化や地域における役割、経験と能力を生かす機会の創出に資する支援策の検討
- ・「遠賀町ひとにやさしい福祉のまちづくり整備基本計画」にもとづく、町内ユニバーサルデザイン化の推進
- ・ニーズや目的に応じた健康づくり教室の推進

##### ◎豊かな心を育むまちづくり

- ・「遠賀町生涯学習まちづくり基本構想・基本計画」に基づいたコミュニティ活動の活性化・充実

##### ◎にぎわいのあるまちづくり

- ・「遠賀町都市計画マスタープラン」に基づく、都市機能の計画的な配置による土地の有効利用と秩序ある市街地の形成
- ・遠賀川駅を中心とした駅周辺地域の一体的な都市機能の集積によるコンパクトな市街地の形成

## (2) 遠賀町人口ビジョン及び総合戦略（平成 27 年度策定）

- 人口減少克服と地方創生に向けた短期的な取り組みを示したものであり、駅周辺地区については「にぎわいを創出するコンパクトシティ化や公共交通などの包括的な基盤整備」を行うこととしている。

### ■計画期間

平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間

### ■交流や遠賀川駅周辺に関する計画の位置づけ

基本目標	基本的方向
遠賀町の地域資源を生かし、元気な産業を育て、安定した雇用を創出する	<ul style="list-style-type: none"><li>立地条件を生かした創業者支援と企業誘致による新たな雇用の創出</li><li>商店街の活性化によるにぎわい創出と人・物の活発な交流</li></ul>
遠賀町に住み続けたい、住んでみたいニーズに応える	<ul style="list-style-type: none"><li>遠賀町の魅力の情報発信</li></ul>
子育て支援で遠賀町の未来をつくる	<ul style="list-style-type: none"><li>妊娠から子育てまでの切れ目ない支援充実</li><li>妊娠から子育てまでに関する教育とワークライフバランス及び男女共同参画の推進</li></ul>
安心して活力あふれる、魅力あるまち遠賀町をつくる	<ul style="list-style-type: none"><li>駅周辺地区のにぎわいを創出するコンパクトシティ化や公共交通などの包括的な基盤整備</li></ul>

## (3) 遠賀町都市計画マスタープラン（平成 22 年度策定）

- 遠賀川駅周辺は、本町の中心拠点、玄関口として駅南地区との連携を図りながら、商業地の活性化、多世代の交流・情報交流の場づくり、町の玄関口として印象付ける空間整備を進めることとしている。

### ■目標年次

平成 37 年

### ■基本理念、都市づくりの目標

- 基本理念に「生活都市づくり」、将来都市像に「魅力あふれるやすらぎの生活都市」を掲げ、遠賀川駅を中心とした交流拠点づくり等を行うこととしている。

### ■遠賀川駅周辺に関する位置づけ

- 都市構造において、遠賀川駅の南北を含めた範囲は、東西軸と南北軸とが交差し土地利用の更新が進むとともに、利便性を活かした土地の高度利用が期待されることから、周辺市町を含む圏域における広域拠点に位置づけている。

- ・遠賀川駅南北周辺を、本町の中心拠点に位置づけ、広域的な商業・業務等の都市機能及び駅の利便性を活かした住機能等の計画的な配置を行うこととしている。
- ・土地利用の方針として、遠賀川駅の北側を「生活交流商業地」に位置づけ、駅南地区との連携を図りながら、商業地の活性化を推進するとともに、多世代の交流・情報交流の場づくり、町の玄関口として印象付ける空間整備を行うとともに、公共施設において、福祉・子育て支援などの関係機関との連携を図り、幅広い人が集う交流空間の整備を進めることとしている。
- ・駅の南側を「複合商業・業務地」に位置づけ、地元の農産物販売や娯楽・レクリエーション機能などを備えた活気ある複合商業地を形成することとしている。

#### (4) 遠賀町公共施設等総合管理計画（平成26年度策定）

- ・管理コストを抑制するため、有用で管理しやすい施設整備が求められている。

##### ■計画期間

平成27年から平成56年までの30年間

##### ■基本理念

事後保全から予防保全／建物重視から機能優先／民間活力の導入／町民との協働

##### ■基本方針

- ・今後、生産年齢は減少し自主財源は縮小するとともに、高齢者の増加に伴う扶助費の上昇により、現状レベルで投資的経費を維持していくことは困難となり、現在保有する全ての施設を更新することは難しくなる。
- ・こうした状況を踏まえ、上記基本理念に基づき、維持管理の効率化、類似施設の集約化等を行い、管理コストを抑制することとしている。

#### (5) 遠賀川駅南地区まちづくり構想（平成24年度策定）

- ・町の中心の一翼を担う新たな活力・交流拠点の形成に向け事業化に取り組んでいる。

##### ■まちづくりのテーマ

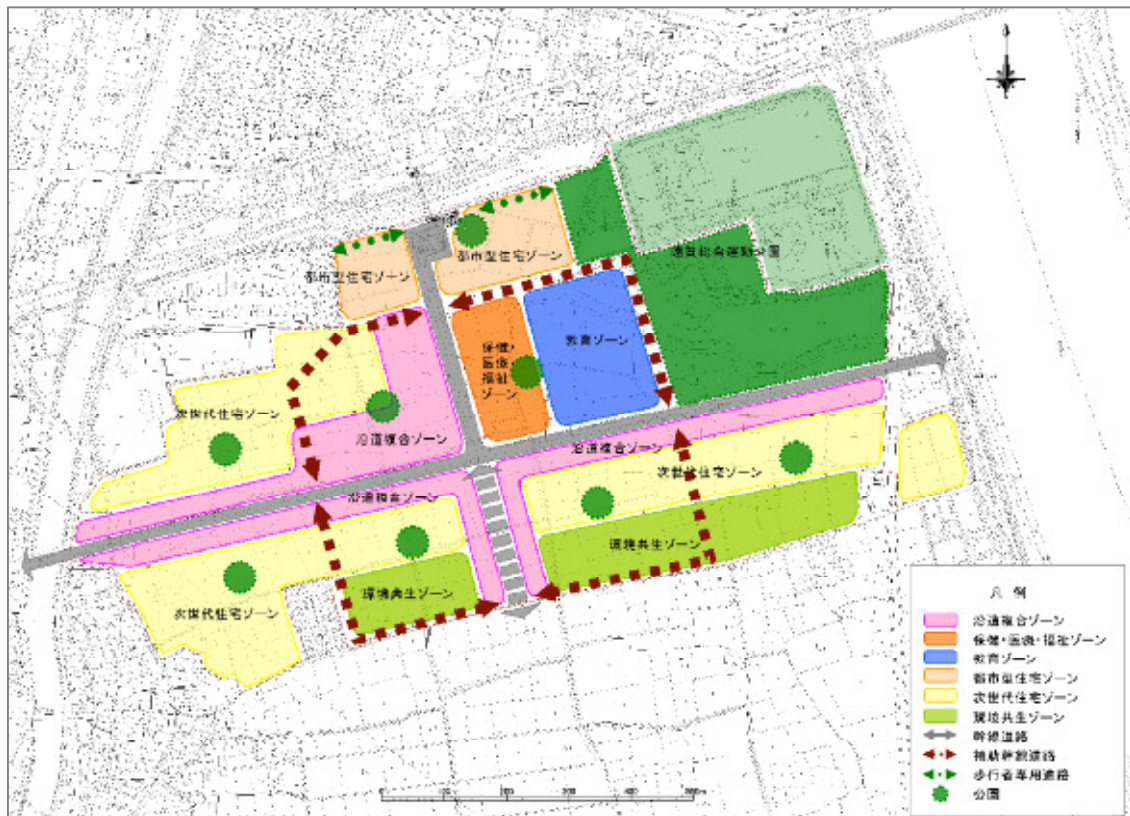
自然と共生し健康的で心豊かに暮らせる次世代駅前空間

##### ■まちづくりの方針

遠賀町中心部の一翼を担う新たな活力・交流拠点づくり	【活力・交流】
遠賀総合運動公園を基点とした、健康的に暮らせるまちづくり	【健康】
自然災害に対応した安全・安心なまちづくり	【安全・安心】
遠賀町らしい自然環境を生かした環境と共生するまちづくり	【環境共生】



## ■まちづくり構想図(案)

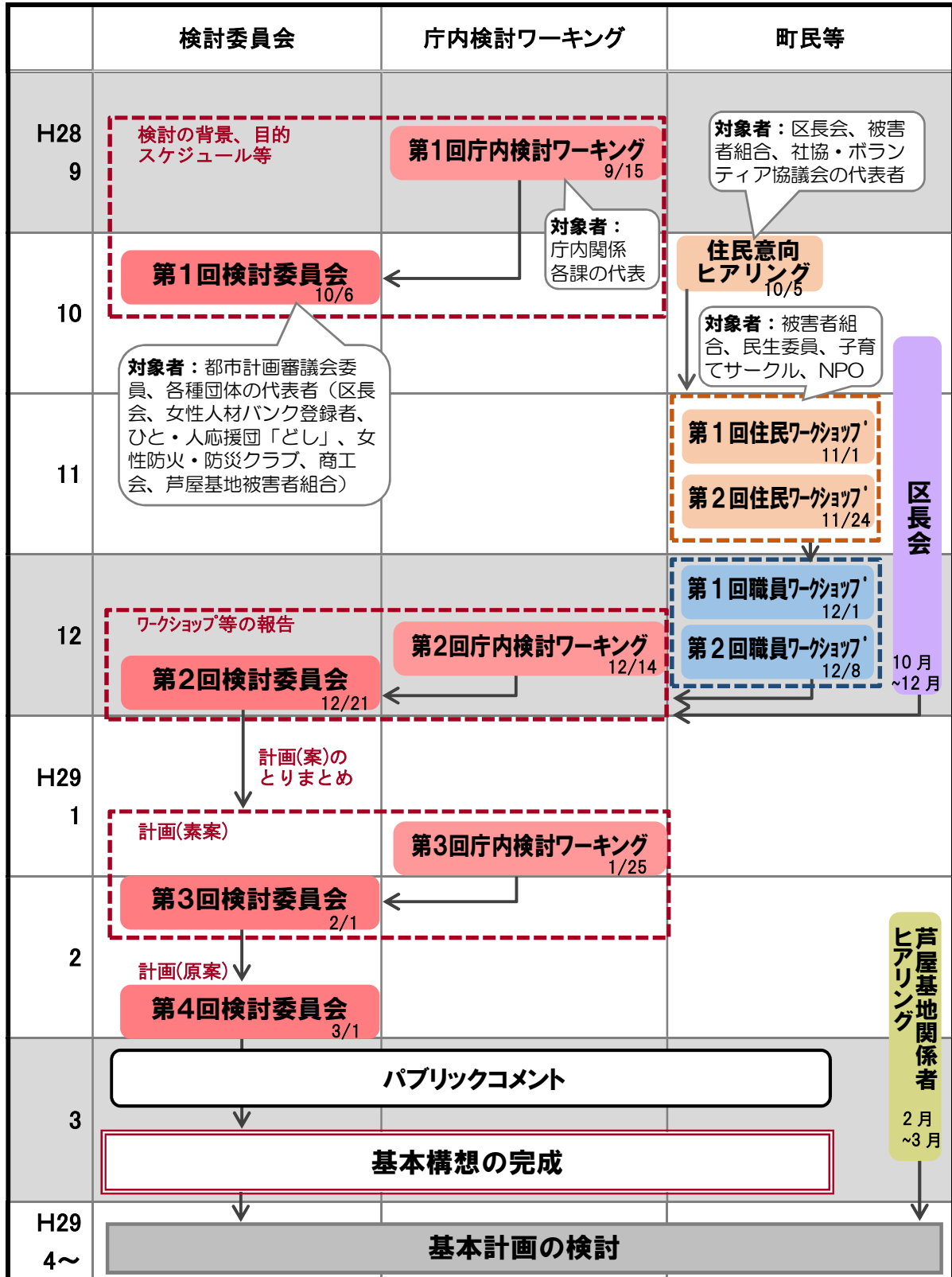


## ■地区整備イメージ



## 4 町民意向等の反映

### (1) 検討の流れ



## (2) 実施概要

### ① 住民意向ヒアリング

**目的**：ワークショップを進めて行くうえでの参考情報を把握するために実施。

**対象者**：区長会、芦屋基地被害者組合、ボランティア連絡協議会の代表（3名）

**日時**：平成28年10月5日（水）10：30～12：00

### ② 住民ワークショップ

**目的**：主な利用者となる住民の、施設に対する要望や提案などを幅広く把握するために実施。

**対象者**：利用が想定される団体等の代表等（被害者組合、民生委員、子育てサークル、NPO等）

日時	実施内容
<b>第1回</b> 平成28年11月1日（火） 13：30～15：30  出席者：10名	<b>テーマ</b> ：何をやっていくのか考えよう！ Step1 何をやっていくのか考えよう！ Step2 みんなでランク付けをしよう！ Step3 取組に必要な機能・大きさを検討しよう！ Step4 付加機能を確認しよう！ Step5 検討結果を共有しよう！
<b>第2回</b> 平成28年11月24日（木） 13：30～15：30  出席者：9名	<b>テーマ</b> ：機能配置、デザインを検討しよう！ Step1 前回の検討結果（機能）を振り返ろう！ Step2 機能の配置を考えよう！ Step3 デザインイメージ・コンセプトを考えよう！ Step4 長く愛される施設にするためにどうしたらよいかを考えよう！ Step5 検討結果を共有しよう！



## ③ 職員ワークショップ

**目的**：町民であり、行政の役割・活動に精通し、今後の様々な場面での活躍が期待される若手の行政職員を中心に、住民ワークショップの意見を練り上げるために実施。

**対象者**：各課代表（総務課、行政経営課、まちづくり課、税務課、住民課、福祉課、健康こども課、都市計画課、建設課、学校教育課、生涯学習課）

日時	実施内容
<b>第1回</b> 平成28年12月1日（木） 9：30～11：30 出席者：16名	<b>テーマ</b> ：町の施策の方向性との整合を確認しよう！ Step1 一般町民による検討結果を確認しよう！ Step2 チェックシートを作成しよう！ Step3 機能、やっていくことをチェックしよう！ Step4 検討結果を共有しよう！
<b>第2回</b> 平成28年12月8日（木） 9：30～11：30 出席者：13名	<b>テーマ</b> ：町民(案)の最終確認をしよう！ Step1 前回の検討結果（機能）を振り返ろう！ Step2 みんなでランク付けをしよう！ Step3 機能の配置、デザイン等を確認しよう！ Step4 長く愛される施設にするためにどうしたらよいかを考えよう！ Step5 最終確認をしよう！ Step6 検討結果を共有しよう！



#### ④ 区長会

**目的**：施設を利用しない人も含めた幅広い立場の住民の、施設に対する要望等を把握するために実施。

**対象者**：区長会（島門、広渡、浅木の3小学校区ごとに実施）

**時期**：平成28年10月～12月

#### ⑤ 芦屋基地関係者ヒアリング

**目的**：自衛隊との交流施設を検討するにあたり、当事者の意向を確認するために実施。

**対象者**：芦屋基地関係者

**時期**：平成29年2月17日～3月

#### ⑥ 庁内検討ワーキング

**目的**：計画案の検討、情報交換等を行うために実施。

**対象者**：各課代表（総務課、行政経営課、まちづくり課、税務課、住民課、福祉課、健康子ども課、都市計画課、建設課、学校教育課、生涯学習課、議会事務局）

日時	実施内容
<b>第1回</b> 平成28年9月15日（木） 15：30～16：00  出席者：12名	議 題 1) 交流施設検討の背景・目的 2) 施設整備までの流れ 3) 本年度の検討の体制と流れ
<b>第2回</b> 平成28年12月14日（水） 9：05～9：40  出席者：11名	議 題 1) これまでの検討結果の報告 2) 今後の予定
<b>第3回</b> 平成29年1月25日（水） 14：40～15：35  出席者：10名	議 題 1) まちづくり構想（素案）について



## ⑦ 検討委員会

**目的**：計画案の調査、審議等を行うために実施。

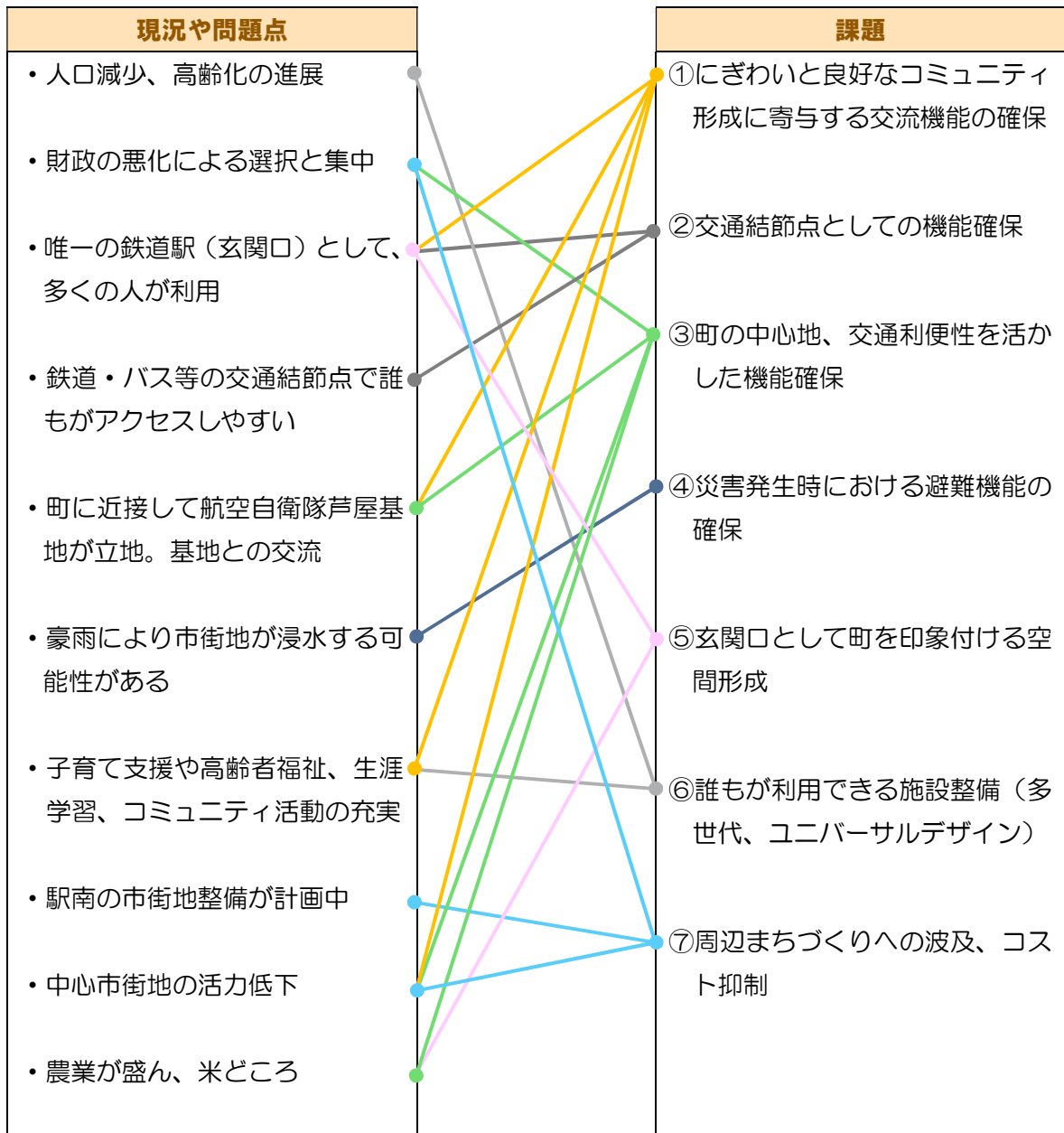
**対象者**：学識又は専門的知識を有する者、区長会、女性人材バンク登録者、ひと・人応援団「どし」、女性防火・防災クラブ、商工会、芦屋基地被害者組合

日時	実施内容
<b>第1回</b> 平成28年10月6日（木） 13：30～14：35  出席者：委員9名、町長	議 題 1) 交流施設検討の背景・目的 2) 施設整備までの流れ 3) 本年度の検討の体制と流れ
<b>第2回</b> 平成28年12月21日（水） 13：30～14：35  出席者：委員10名	議 題 1) これまでの検討結果の報告 2) 今後の予定
<b>第3回</b> 平成29年2月1日（水） 13：30～14：40  出席者：委員9名	議 題 1) 芦屋飛行場周辺まちづくり構想（案）について
<b>第4回</b> 平成29年3月1日（水） 13：30～14：20  出席者：委員10名	議 題 1) 芦屋飛行場周辺まちづくり構想（案）について



## 5 まちづくりの課題

前述の基礎的条件、上位・関連計画の整理を踏まえ、遠賀川駅周辺での交流施設整備における課題を整理します。



## 6 基本構想

### 6.1 基本理念及び基本方針

#### (1) 基本理念

当施設は、総合計画に掲げる「みんなで育む絆のまち」の実現に向け、交流拠点を利便性の高い遠賀川駅周辺に形成しようとしているものであり、町の一等地に立地する利便性の良さから、いつも人が集い、人と人のふれあいから“あたたかさ”を感じる。そして、施設のデザインからも遠賀をイメージする田園等の豊かな自然に包み込まれるような“あたたかさ”を、災害発生時には避難場所に活用できるという“安心感”もある。さらには、人の往来、活発な交流活動やイベント、さまざまな情報からは“元気！”を感じる。そして、いつも何かが新しく、行きたくなる。

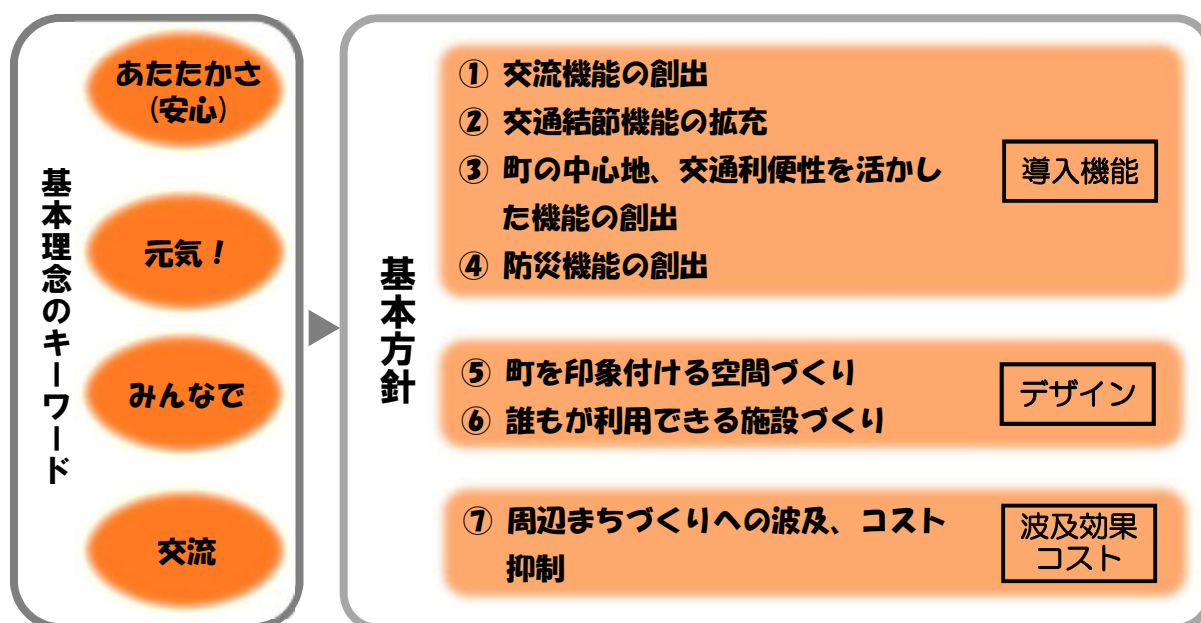
そんな交流拠点形成をめざし、当構想の基本理念を以下のように設定します。

#### “あたたかさ”と“元気！”を感じる

#### みんなの交流・防災拠点づくり

#### (2) 基本方針

基本理念を踏まえ、基本方針を「導入機能」「デザイン」「波及効果・コスト」の項目ごとに基本方針を設定します。



## 6.2 整備方針

### ① 交流機能の創出

#### 【整備方針】

- いろんな世代、団体・個人でいつも賑わっている交流拠点を創出します。
- 見晴らしの良い展望空間を確保します。

【整備イメージ】 町民意向等をそのまま例示するものです。

項目	導入機能
学習、生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 町民のサークル活動等が可能な多目的室</li> <li>• ちょっとした集まり、自習や読書等が可能なサロン</li> <li>• 自衛隊との交流等の場となるイベントスペースや劇場（小ホール）</li> <li>• アクセスのしやすさを活かした学習塾</li> <li>• ふれあい農園（屋上の活用）</li> </ul>
スポーツ、健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 血圧・体重の計測が可能な健康づくりコーナーやフィットネススペース</li> <li>• <b>アイススケート場</b>、芝生広場</li> <li>• 駅近くに立地する総合運動公園を活かしたスポーツの強い大学との連携拠点</li> </ul>
展望、観覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠賀らしい田園風景を望める展望台</li> <li>• 花火大会や航空ショーの観覧スペース</li> </ul>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 親同士の交流や保健師への相談ができる子育てサロン</li> <li>• 雨の日でものびのび遊ぶことができる屋内遊戯スペース</li> <li>• 託児所、学童保育所、病児保育所、<b>小児科</b></li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光の目玉となる場所（足湯など）</li> </ul>

灰色塗りつぶしは少数意見、赤文字は JR や民間事業者による提供が想定される機能



イメージ

サークルに利用される多目的室



イメージ

自衛隊の演奏が行われるイベントスペース

## ② 交通結節機能の拡充

## 【整備方針】

- 人生の新たな出発や再会などの場として良好な空間を確保します。電車を楽しむ空間を確保します。
- 北口、交流施設、駅、南口を結ぶ円滑な動線を確保します。鉄道、バス、自家用車等との乗り継ぎの利便性を高めます。

【整備イメージ】町民意向等をそのまま例示するものです。

項目	導入機能
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電車の見送りや電車撮影スペース</li> <li>• 電車を見ながら過ごすことができるラウンジ</li> <li>• 駅の利便性向上（橋上駅化、南側改札やICカード専用の無人改札の設置、自由通路・駅舎・交流施設の円滑な動線の確保）</li> </ul>
バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バス待合スペースの確保</li> <li>• 北口ロータリーの混雑解消</li> <li>• コミュニティバスの利便性向上</li> </ul>
駐車場、駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設利用者用の無料又は安価な駐車場</li> <li>• 雨に濡れず利用可能な駐車場（建物下又は屋根付き）</li> <li>• 子供なども施設を気軽に利用できる無料の駐輪場</li> </ul>
諸機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多目的・きれいなトイレ</li> </ul>

灰色塗りつぶしは少数意見、赤文字は JR や民間事業者による提供が想定される機能



特産品の販売



### ③ 町の中心地、交通利便性を活かした機能の創出

#### 【整備方針】

- 多くの人が行き交う場として、町や周辺地域等の情報発信や特産品の販売、行政サービスを提供します。
- 町の中心地という立地条件も活かし、駅や交流施設利用者のみならず、多くの町民が便利、快適、楽しいと思える機能を導入します。

【整備イメージ】町民意向等をそのまま例示するものです。

項目	導入機能
町・県等の紹介、 関連商品販売、 行政サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 町の特産品や歴史、地形を紹介する町の紹介コーナー</li> <li>• 町・遠賀郡・県の特産品販売コーナー</li> <li>• 駅前サービスセンターの代替機能</li> <li>• 図書の返却コーナー、<b>図書館</b></li> </ul>
自衛隊の紹介、 関連商品販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自衛隊の活動や芦屋基地のジオラマ等の自衛隊紹介コーナー</li> <li>• 自衛隊アンテナショップ、<b>米軍払い下げ品販売</b>、<b>フライトシミュレーター体験コーナー</b></li> </ul>
小売店	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>コンビニ・ATM・イートインコーナー</b>、<b>たい焼店</b>、<b>パン屋</b></li> <li>• <b>本屋</b>、<b>クリーニング店</b>、<b>洋服修理店</b>、<b>ファストファッション店</b>、<b>レンタルショップ</b>、<b>ドラッグストア</b>、<b>スポーツ用品店</b></li> <li>• <b>レンタルテナント・マルシェ（期間限定店舗）</b>、<b>移動型店舗出店スペース</b></li> <li>• <b>アロマリラックスの部屋</b></li> </ul>
飲食店	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>地元産食材使用の総菜屋・食堂</b>、<b>カフェ</b></li> <li>• <b>居酒屋・角打ち</b>、<b>屋上ビアガーデン</b></li> <li>• <b>地産地消とおいしい給食のPRとして学校給食提供スペース</b></li> <li>• <b>非常食の試食コーナー（消費期限が近いものを提供）</b></li> </ul>
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>映画館</b></li> </ul>
住宅、宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>住宅</b>、<b>ホテル</b></li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>FM サテライトスタジオ</b></li> <li>• Wi-Fi</li> <li>• <b>起業支援用低料金ビジネススペース（有期）</b></li> </ul>

灰色塗りつぶしは少数意見、赤文字は JR や民間事業者による提供が想定される機能

## ④ 防災機能の創出

## 【整備方針】

- ・災害発生時の避難機能を確保します。
- ・災害に対する町民の意識を高めるため過去の災害情報等を掲示します。

【整備イメージ】町民意向等をそのまま例示するものです。

項目	導入機能
避難施設、 情報展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水等の災害時の避難所、備蓄倉庫、ヘリポート</li> <li>・過去の水害やハザードマップ、避難情報等の展示</li> </ul>

灰色塗りつぶしは少数意見

## ⑤ 町を印象付ける空間づくり、誰もが利用できる施設づくり

## 【整備方針】

- ・町をイメージでき、見たくなる、来たくなるような魅力的なデザインとします。
- ・誰もが利用できる施設とします。

【整備イメージ】町民意向等をそのまま例示するものです。

項目	デザイン
外観（田園との調和・水と緑）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の存在感があるなど、あたたかみがあるデザイン</li> <li>・町らしい田園風景との調和、米をイメージできるデザイン（例：高床式の正倉院）</li> <li>・水と緑、遠賀川の流れ、町花のスイセンをイメージできるデザイン</li> </ul>
外観（レトロ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の駅舎のデザインを活かしたデザイン（周りの街並みとの調和にも配慮する。古き良き時代をイメージできるものとする）</li> <li>・以前の駅舎のデザインも考慮</li> </ul>
外観（その他）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが行きやすいデザイン</li> <li>・人を呼びこめるような魅力的なデザイン</li> <li>・フェイスブック等のSNSで拡散されるようなデザイン</li> <li>・近代的なものは町にあわない</li> <li>・モニュメント（プロジェクトマッピングも可能）を設置</li> </ul>
ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや高齢者、障害者など、誰もが利用できるユニバーサルデザインによる施設整備</li> </ul>

## ⑥ 周辺まちづくりへの波及、コスト抑制

### 【整備方針】

- ・周辺で行われるまちづくりへの波及効果を考慮した施設整備とします。
- ・将来の維持管理コストの抑制を考慮した施設整備とします。

【整備イメージ】 町民意向等をそのまま例示するものです。

### 波及効果・コスト

- ・本町の大型プロジェクトである駅南の市街地整備や中心市街地の活性化の取り組みに整備効果を波及できるタイミングでの施設整備・施設内容
- ・維持管理の容易性、需要の変化に柔軟に対応可能なスケルトンインフィルの導入など、将来の維持管理コストの抑制を考慮した施設整備

## 6.3 施設運営方針

### 【運営方針】

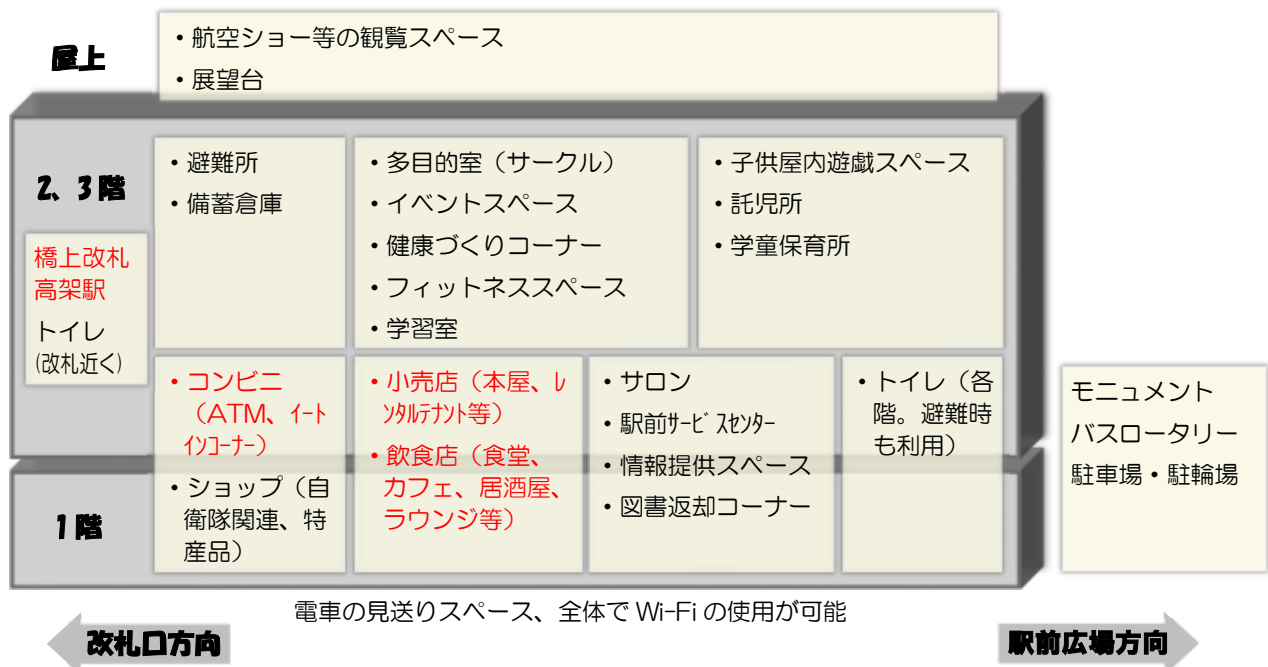
- ・いつも何かが新しく、いつ来ても飽きない魅力を維持します。
- ・施設情報をみんなで発信します。
- ・いつも快適に利用でき、良好な状態を維持します。

【運営イメージ】 町民意向等をそのまま例示するものです。

- ・何か新しく楽しいイベントを定期的に関催
- ・特産品コーナーは、品数を充実させ、レイアウトを定期的に更新し、いつも新鮮な印象
- ・町のホームページ等で最新情報を随時発信。SNS（Facebookなどのソーシャルネットワーキングサービス）を活用した情報発信を町職員や関係団体で実施
- ・地域住民等による定期的な清掃イベントの実施。特に、汚れがちなトイレは美しい状態を維持（清掃等に関与することで施設に対する愛着の醸成を期待）
- ・外観に影響する広告物等をコントロールし良好な状態を維持
- ・増築や改築の際は、既存施設との調和した意匠とする

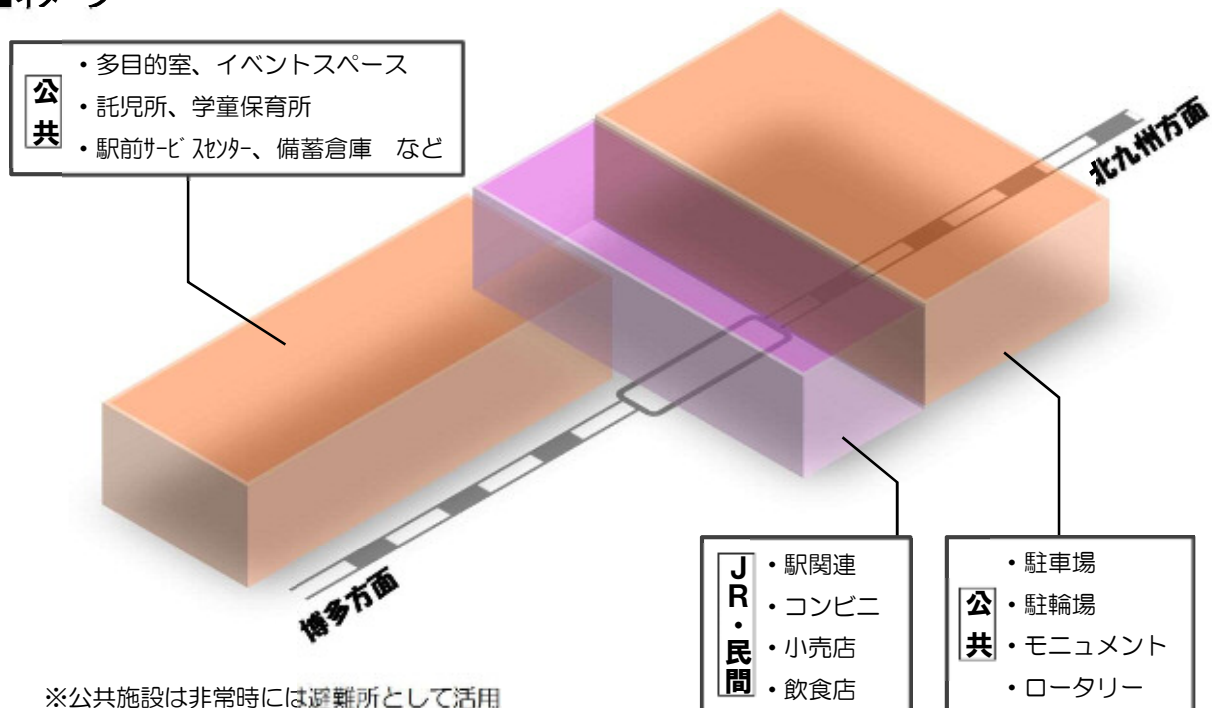
## 6.4 施設配置イメージ

■断面イメージ 町民意向等をそのまま例示するものです。



赤字は JR や民間事業者による提供が想定される機能

■イメージ



## 7 今後の予定

H28年度	H29年度	H30年度	H31年度～
<b>基本構想</b> 施設の条件整理 ・コンセプト ・導入機能 ・概ねのレイアウト 等	<b>基本計画</b> 施設の空間構成の 具体化 ・施設整備方針 ・施設構成 ・施設配置 等	<b>実施計画</b> 施工や見積りを考慮し た具体的な計画 ・概略設計 ・概算事業費 ・スケジュール 等	基本設計 実施設計 工事着手

### ■今後の検討にむけて

- ・遠賀川駅を利用している芦屋町の住民や、遠賀町の将来を担う学生（10～20代）の意見も取り入れることが望ましい。
- ・町の一等地に立地する防災機能をそなえた交流施設であり、地域の賑わい創出や利便性の向上等さまざまな効果が期待され、検討過程では早期整備を望む声が多く聞かれたことから、遅滞ない着実な施設整備が望まれる。
- ・遠賀町公共施設等総合管理計画による管理費用抑制目標を踏まえ、既存施設の立地状況や建替え予定を考慮する。



## 8 参考資料

### 8.1 芦屋飛行場周辺まちづくり構想検討委員会

#### 芦屋飛行場周辺まちづくり構想検討委員会設置規則

(趣旨)

第1条 遠賀町附属機関の設置に関する条例（平成19年条例第3号）第3条の規定に基づき芦屋飛行場周辺まちづくり構想検討委員会（以下「委員会」という。）の組織、所掌事務及び委員その他の構成員、並びにその運営に関して必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(所掌事務)

第2条 委員会は、芦屋飛行場周辺まちづくり構想の策定等に関することについて調査及び審議等を行い、町長に意見を述べる。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者の中から10人以内で組織し、町長が委嘱する。

- (1) 学識又は専門的知識を有する者
- (2) 住民の代表者
- (3) その他町長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、3年以内とし、再任は妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。
- 3 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(報酬及び費用弁償)

第8条 委員の報酬及び費用弁償の支給については、遠賀町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年条例第14号）の規定による。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、行政経営課において処理する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

#### 芦屋飛行場周辺まちづくり構想検討委員

No.	区 分	団体名	委員名
1	学識又は専門的知識を有する者	都市計画審議会	仲 野 茂 之
2	学識又は専門的知識を有する者	都市計画審議会	森 素 直
3	学識又は専門的知識を有する者	都市計画審議会	千 坂 博
4	学識又は専門的知識を有する者	都市計画審議会	高 崎 徳 彦
5	住民の代表者	区長会	舩 添 淳 一
6	住民の代表者	女性人材バンク登録者	福 嶋 東三子
7	住民の代表者	ひと・人応援団「どし」	吉 岡 美 保
8	住民の代表者	女性防火・防災クラブ	松 村 文 美
9	その他町長が必要と認める者	商工会	三 原 光 広
10	その他町長が必要と認める者	芦屋基地被害者組合	矢 野 力

## 8.2 庁内検討ワーキングメンバー

No.	課 名	氏 名
1	総務課	田 中 賢 一
2	行政経営課	濱 田 美 孝
3	まちづくり課	木 村 淳 子
4	税務課	関 弘 光
5	住民課	竹 林 康 成
6	福祉課	藤 津 英 樹
7	健康こども課	高 崎 弘 美
8	都市計画課	宗 岡 卓 也
9	建設課	木 原 弘 善
10	学校教育課	新 田 練
11	生涯学習課	向 井 理 人
12	議会事務局	牛 草 弥 生

### 事務局

No.	課 名	氏 名
1	行政経営課長	岩河内 孝 寿
2	建設課長補佐	福 島 賢 二
3	行政経営課 企画調整係長	藤 本 英一郎
4	行政経営課 企画調整係	半 田 慎 杉 下 裕 樹

---

## 8.3 まちづくり構想策定支援事業等について

---

### まちづくり構想策定支援事業及びまちづくり支援事業の採択について

(目的)

第1 この通達は、まちづくり構想策定支援事業（防衛施設周辺まちづくり計画事業補助金交付要綱（平成19年防衛省訓令第128号）第2条第1号に規定する総合的計画策定事業に対する助成をいう。以下同じ。）及び防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（昭和49年法律第101号。以下「法」という。）第8条の規定に基づく民生安定施設の助成として実施するまちづくり支援事業（以下「まちづくり支援事業等」という。）の採択について必要な事項を定めることにより、これらを効率的かつ効果的に実施することを目的とする。

(まちづくり支援事業等の趣旨)

第2 まちづくり支援事業等は、主として航空機騒音問題への対応策の一つとして実施するものであって、主に自衛隊等の航空機の離陸、着陸等の頻繁な実施により生ずる音響によって周辺地域の住民の生活や事業活動が著しく阻害されている場合において、地方公共団体が、住民の需要及び防衛施設の存在、自然環境、歴史、文化等の地域の特性を踏まえつつ、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設の存在を前提としたまちづくり（以下単に「まちづくり」という。）を行う場合に、国がその費用の一部を補助し、防衛施設の存在に対する住民の理解を深めることで、防衛施設とその周辺地域との調和を図るものである。

(補助の対象となる地方公共団体)

### 第3 (略)

(まちづくり構想策定支援事業の採択)

第4 まちづくり構想策定支援事業を採択するに当たっては、地方公共団体が行うまちづくりの内容が次の各号のいずれかに該当すると認められる構想を対象とする。

- (1) 防衛施設が存在するという地域の特徴を活用し、自衛隊員、米軍人等と防衛施設の周辺地域の住民との文化の交流又は地域における防災等のための活動の促進を企図したまちづくり
- (2) 飛行場周辺において法第5条第2項の規定に基づき国が買入れた土地の活用を前提としたまちづくり（当該土地を使用することについて関係機関との間の協議が調ったものに限る。）
- (3) 防衛施設周辺の市街地又は市街化しつつある地域の活性化又は住民の生活環境の改善につながるまちづくり
- (4) 前3号に掲げるもののほか、防衛大臣が第2に規定するまちづくり支援事業等の趣旨に合致するまちづくりとして特に認めるもの

2 地方公共団体からまちづくり構想策定支援事業に係る補助事業等計画書（防衛施設周辺対策事業補助金等交付事務取扱規則（平成19年防衛省訓令第80号）第3条第1項に規定する補助事業等計画書をいう。以下同じ。）が提出されたときは、地方防衛局長又は東海防衛支局長（以下「地方防衛局長等」という。）は、計画の概要、実施期間等について当該地方公共団体と調整を行い、別紙様式第1によるまちづくり構想策定支援事業概要書を添えて、防衛大臣に提出するものとする。

(まちづくり支援事業の採択)

### 第5 (略)

### 補助率

まちづくり構想策定支援事業 9/10 、まちづくり支援事業 7.5/10

## 8.4 町民等の意向把握の結果

### (1) 住民意向ヒアリング

日 時 : 平成28年10月5日(水) 10:30~12:00

場 所 : 遠賀町役場 車庫棟2階 第6会議室

主な意見等:

#### [検討の進め方]

- ワークショップでは話が拡散しないように、駅施設の検討に話題を絞った方が良い。
- 施設整備を検討するときは利用者の意見を把握し、満足度の高い施設にしていくべき。
- 「遠賀町活性化未来会議」を絡めても良いと思う。意見も聞くべき。

#### [導入機能等]

- 町の名所を案内する場所が必要。(町の田園風景は魅力的。馬頭岳からの眺めも良い。)
- 交流施設では、自衛隊の紹介や隊員募集等の情報を提供すべき。駅前には自衛隊と交流する場所がない。
- 自衛隊基地の案内は良かった。芦屋基地の航空祭には遠方からも来る。一般の人も自衛隊には興味があると思う。
- 自衛隊OBに交流活動に参加してもらおうと良い。
- 駅前で子供を預けられると良い。
- 昭和28年の水害はひどかった。
- 駅を利用しない人を呼び込む工夫が必要。

#### [その他(被害対策)]

- 騒音等被害の大きな場所を優先に取り組むべき。

## (2) 住民ワークショップ

### [第1回ワークショップ]

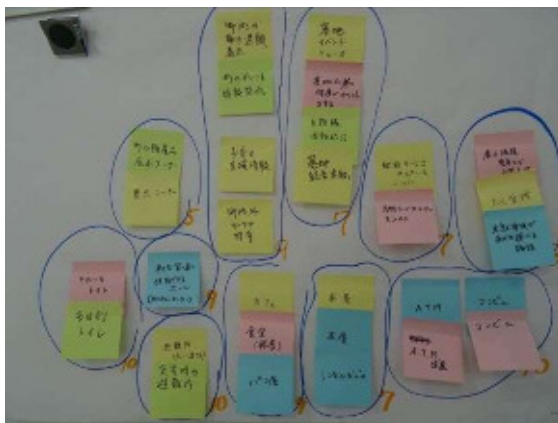
日時：平成28年11月1日(火) 13:30~15:30

場所：遠賀町役場2階 大会議室

テーマ：何をやっていくのか考えよう!

### A班の検討結果

やっていくこと		票数	必要な機能・広さ	付加機能
カルチャーセンター	・色々な習い事に使用できるホール (カルチャーセンター)	9	・大会議室(ココ) くらいの広さ ・高齢者も対象	・情報板(テレビなど)
サービスセンター	・駅前サービスセンターを一つに ・駅前サービスセンターを入れる	7	・今あるものの半分 くらいの広さ	・自衛隊(イベントなど)
カフェ	・食堂(軽食) ・カフェ ・パン屋	9	・ベビーカーで入れる ・大会議室の半分 くらいの広さ	・駐車場 ・コミバス(乗りやすければ駐車場を小さくできる)
託児所	・未就学児が雨でも遊べる施設 ・展示施設(電車など、子供広場) ・託児所	8	・大会議室の1/4の 広さ	・子育て、高齢者がアクセスしやすいように
本、レンタル	・本屋 ・レンタルビデオ	7	-	
トイレ	・きれいなトイレ ・多目的トイレ	10	-	・カルチャーセンターの 発表の場(展示・広場)
コンビニ ATM	・コンビニ ・ATM	10	-	
避難所(高い)	・避難所(高い建物) ・災害時の避難所	10	-	・ゆっくりと過ごせる (2~3時間、半日)
情報提供(特産品)	・町の特産品展示コーナー ・展示コーナー	5	-	
情報提供(町のイベント等)	・町内の動き速報表示 ・町のイベント情報発信 ・子育て支援情報 ・町内外サークル紹介	9	-	・バリアフリー
情報提供(自衛隊基地)	・基地イベントニュース ・基地が何度かイベントをする ・自衛隊活動紹介 ・基地教育実施	7	-	・駅南から博多方面の電車に 乗りやすいように ・自由通路に屋根を





## B班の検討結果

やっていくこと	施設	票数	付加機能
買い物の出来るところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅にコンビニがほしい</li> <li>・ATM</li> <li>・遠賀町特産品の販売スペース</li> <li>・便利な各種テナントの設置</li> <li>・イトイン</li> </ul>	9	地域の物産の情報発信
スポーツ・健康づくりにふさわしい施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィットネス（体を動かせる場所）</li> <li>・大きな器具など必要ない運動ができるスペース</li> </ul>	9	自衛隊員とのスポーツを通じた交流 駅と運動公園とのアプローチの早期実現 足湯休憩所 スポーツの強い大学との連携拠点
人と人との交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的会議室</li> <li>・駅前サロン</li> <li>・サークル活動、文化芸術に触れることができる施設づくり</li> </ul>	8	軽食等を楽しみ市民が集まる施設
子育て世帯が利用しやすい施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・託児所</li> <li>・親子で楽しめる場所</li> <li>・駅ビル保育所</li> <li>・図書館（ミニ自習室のような空間、部屋）</li> <li>・学童（小中の子ども、生徒たちも集まる場所）</li> </ul>	7	子どもの為の医療
自衛隊との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隊員さんと一緒に基地で夏休みキャンプなどとしては如何</li> <li>・小・中学生の体験学習（自衛隊）</li> <li>・芦屋基地との連絡所（PR）</li> </ul>	5	自衛隊グッズの販売
防災・建物の建て方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場</li> <li>・駐車場跡に3,4階建てのビルを建てる（多目的ビル）</li> <li>・避難ビル</li> <li>・避難所、高さ3m以上 航空機事故時に活用できる施設づくり</li> </ul>	5	-



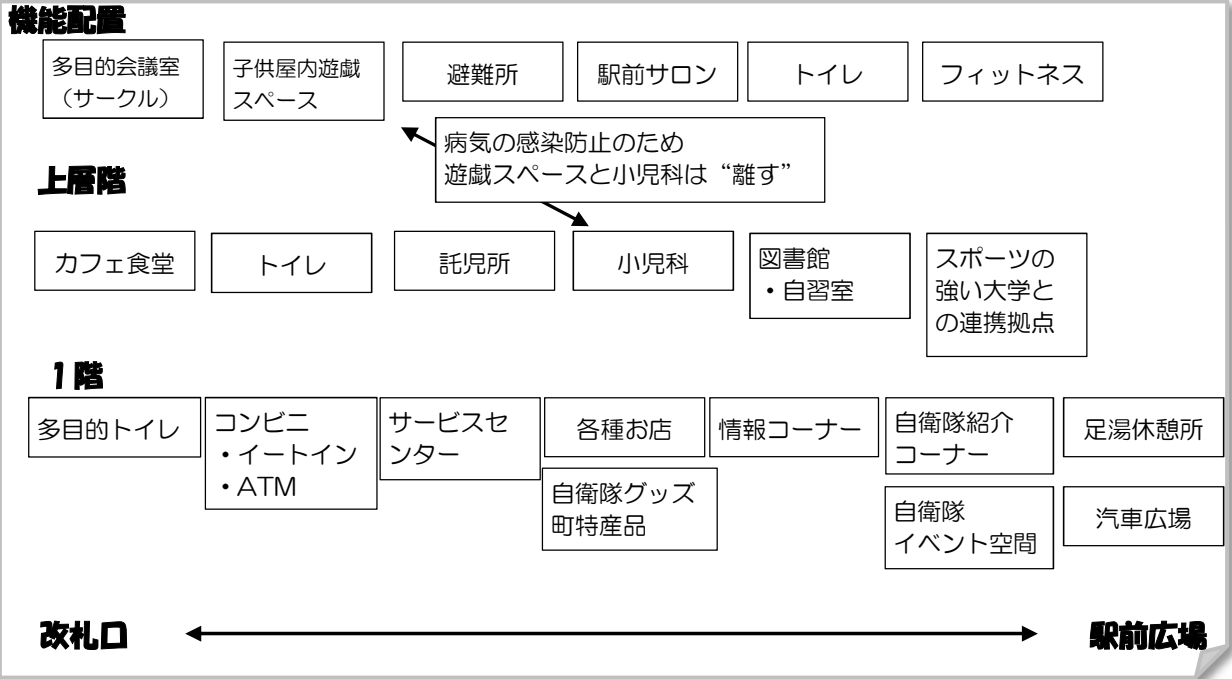
**[第2回ワークショップ]**

**日時** : 平成28年11月24日(木) 13:30~15:30

**場所** : 遠賀町役場1階 庁議室

**テーマ** : 機能配置、デザインを検討しよう!

**A班の検討結果**



**デザインイメージ**

- 農村の良さがあるのであたたかみのあるデザインが良い
- 周りが今のまちなみなら今の洋風のデザインは良くない
- 周りもレトロなら今の洋風でも良い
- 近代的なものは町にあわない
- 木の戸長所: 古い良さがある 短所: めんどくさい
- 赤間が新しくなっかかり
- 今のものの前のデザインも気になる
- デザインは古く(これまでの良さ)構造は最新

**コンセプト (キャッチコピー)**

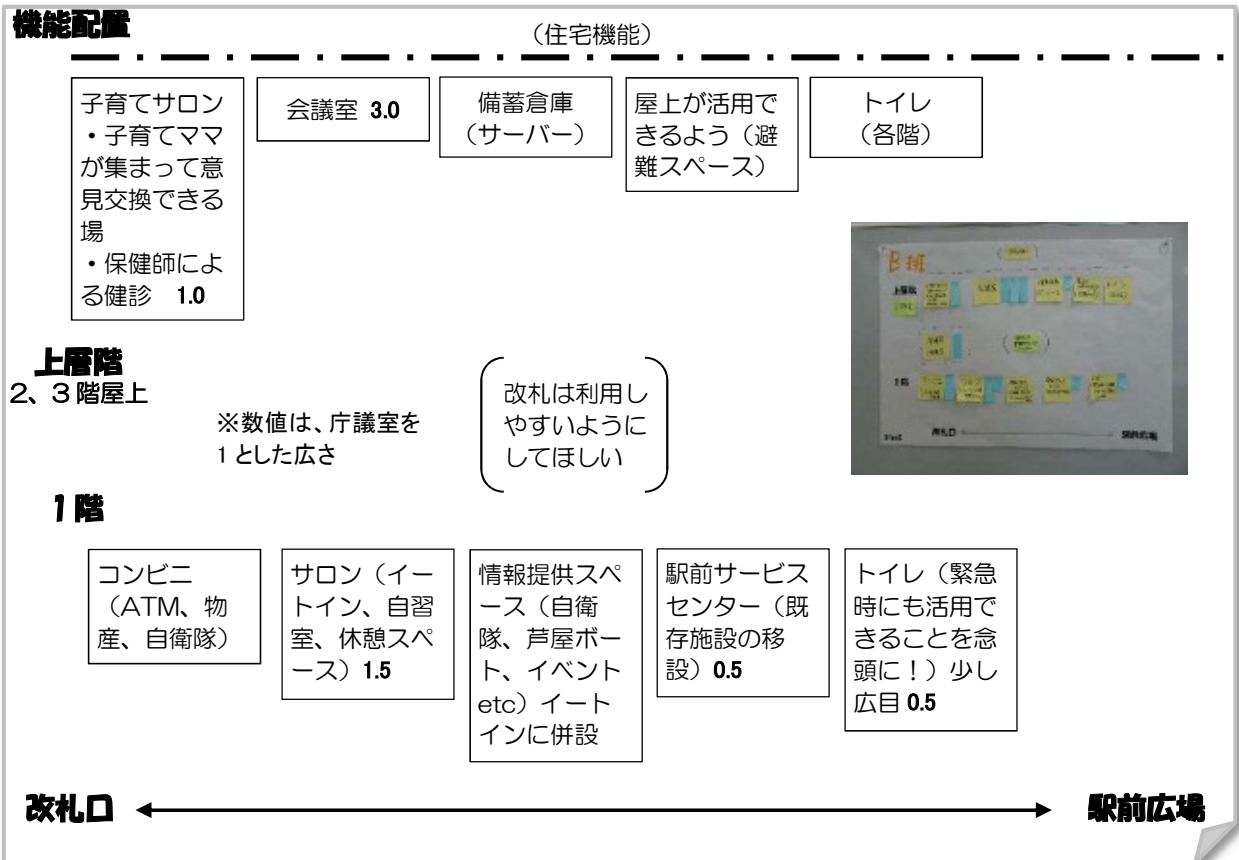
- 世代をこえて
- 人と人との交流



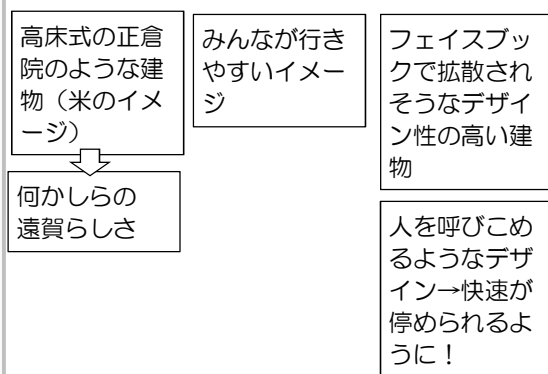
**長く愛される施設にするために**

- きれいにする
  - ・地元で清掃
  - ・役場のイベントで実施
  - ・子供が実施(親は汚さなくなる)
- 特にトイレを!
- 行きやすいようにコミバスなどの交通を確保
- 無料の駐輪場(子供などたまたま使う人も使いやすいように)
- 駐車場を安く(施設利用者は無料にするなど)

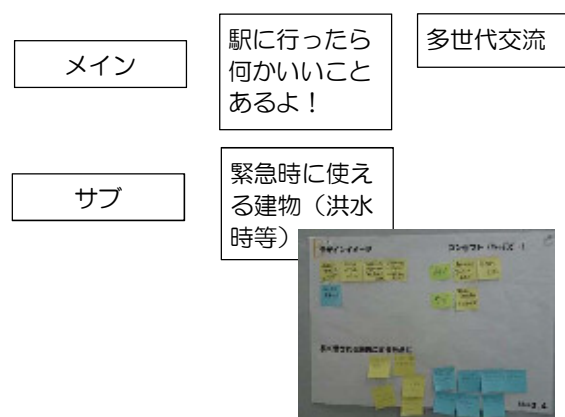
## B班の検討結果



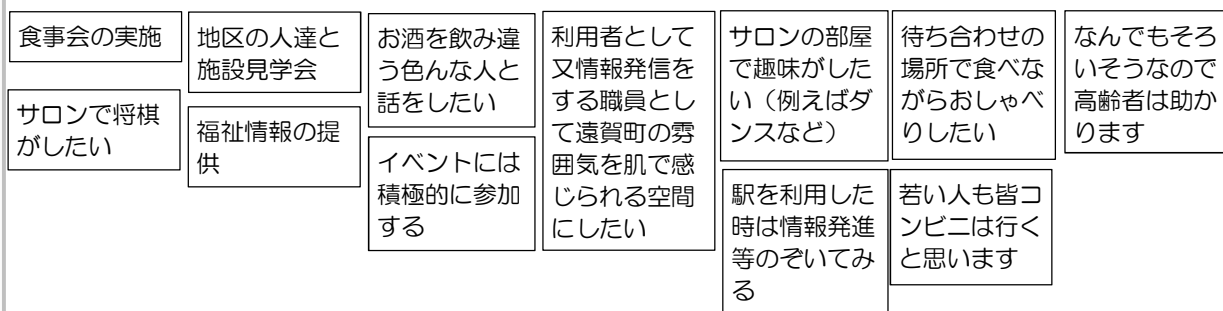
## デザインイメージ



## コンセプト (キャッチコピー)



## 長く愛される施設にするために



### (3) 職員ワークショップ

#### [第1回ワークショップ]

日時：平成28年12月1日(木) 9:30~11:30

場所：遠賀町役場2階 大会議室

テーマ：町の施策の方向性との整合を確認しよう！

#### A 班の検討結果 青文字は、職員WSにより追加された意見

基本目標	交通拠点	玄関口 5000人 町の中心	観光施設 情報発信地	交流施設、コミュニ ティ施設、賑わ い・イベント、文 化施設	商業施設
①自然と共生 する快適なま ちづくり	安い駐車場 施設利用者の 無料駐車場 橋上改札	トイレ、住宅 備蓄倉庫、避難 ヘリポート		電車の見送りができ る場所	
②はつらつと 生活できるま ちづくり				子育てサロン、小児 科、サロン、図書	
③豊かな心を 育むまちづく り				スポーツ大学との連 携、フィットネス、 多目的会議室、 サークル	
④にぎわいの あるまちづく り	モニュメント (フットボールマ ジックができる) る)	駅前SC 駅前開発	足湯(目玉) 汽車広場(歴史紹 介) 情報提供コーナー 特産品販売 ワイモバイル Wi-Fi	花火大会、航空祭 イベントスペース (ホール)	コンビニ、イートイ ン、カフェ、本屋、 レンタルショップ、 ATM、 ホテル、 地元産食堂、飲める お店(昼から?)
⑤自立したま ちづくり					

## B 班の検討結果 青文字は、職員 WS により追加された意見

基本目標	農業	自衛隊	交通の拠点(乗換ポイント)	玄関口	低予算、ランニングコスト	安全性の高い建物、防災
①自然と共生する快適なまちづくり			駅南の開発を考慮 バス乗継用集合場所		バリアフリー 建物の建て方 (P+3,4 階建て)	避難所 備蓄倉庫
②はつらつと生活できるまちづくり						
③豊かな心を育むまちづくり						
④にぎわいのあるまちづくり	町の特産品展示 ふれあい農園		北口混雑の解消 (自家用車とのすみ分け)			
⑤自立したまちづくり		自衛隊紹介コーナー 自衛隊アンテナショップ、米軍払い下げ品販売				

基本目標	幅広い世代が利用	駐車場	利便性 駅南への入口 町の一等地	スペース	情報発信
①自然と共生する快適なまちづくり	多目的トイレ きれいなトイレ	料金の安い駐車場	駅南に改札	屋上(花火など) 芝生広場	
②はつらつと生活できるまちづくり	子育て広場 フィットネス		小児科 託児所	学童	
③豊かな心を育むまちづくり	多目的会議室 図書館 健康づくりコーナー(血圧、体重) 劇場(小ホール) アイススケート		図書の返却	汽車広場 レンタルテナント スペース	大学との連携拠点 FM サテライトスタジオ
④にぎわいのあるまちづくり	カフェ 足湯 食堂		コンビニ、イートインコーナー、ATM、レンタルビデオ、パン屋、自由通路に屋根、展望スペース、駅前サービスセンター、クリーニング、洋服修理、起業支援用低料金ビジネススペース(有期)、無料駐車場		
⑤自立したまちづくり					情報コーナー(町のイベント) 県・遠賀郡アンテナショップ

**C 班の検討結果** 青文字は、職員 WS により追加された意見

基本目標	利便性の向上 交通の拠点 通過点	玄関口 中心的位置 町の顔	交流の中心 憩いの場	情報の拠点
①自然と共生 する快適なま ちづくり	電車の見送り 南側改札、 ロータリー（バス ステーション）	避難所		田園風景展望台
②はつらつと 生活できるま ちづくり	小児科、託児所 病児保育	駅前サービ スセンター		サロン 足湯 親子の広場
③豊かな心を 育むまちづく り				多目的会議室、フ ィットネス、トイ シ、汽車広場、 スポーツ拠点
④にぎわいの あるまちづく り	コンビニ、ATM 特産品の展示、販 売		パン屋、本屋、レンタ ルショップ、今あるた い焼店、 居酒屋・角打ち、マル シェ（期間限定店舗）、 総菜屋（地元産食材使 用）、ファストファッ ション店、スポーツ用 品店、映画館、高架駅	イートイン 図書館 自衛隊コーナー
⑤自立したま ちづくり			備蓄倉庫	情報提供



## [第2回ワークショップ]

日 時 : 平成 28 年 12 月 8 日 (木) 9:30~11:30

場 所 : 遠賀町役場 2 階 大会議室

テ ー マ : 町民(案)の最終確認をしよう!

## 機能のランク付け

各機能の黒文字は住民 WS による意見、青文字は第 1 回職員 WS により追加された意見

「票率」参加者一人あたり肯定票 2 票を上限として得た合計の割合。100 が最大値

「分母」は参加者×2票。途中出入りがあったため分母は異なる。

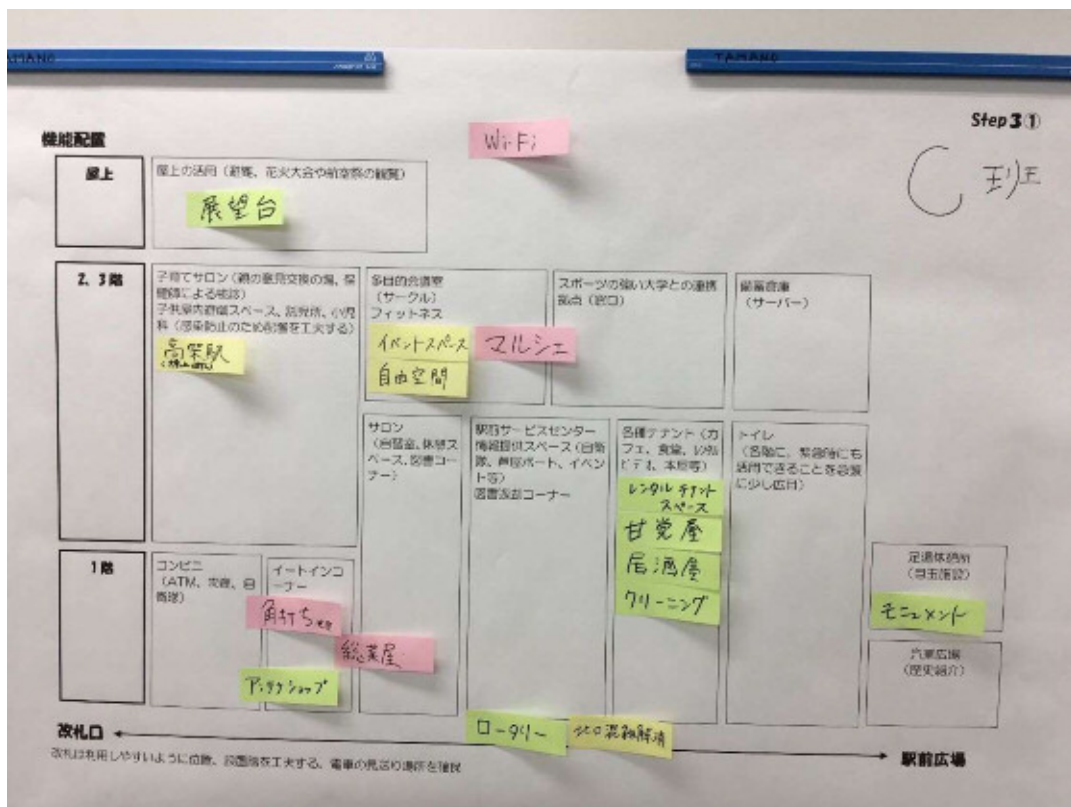
基本 目標	票 率	分 母	有効 票数	交通拠点	票 率	分 母	有効 票数	玄関口、 町の中心
①	100	24	0	橋上改札	100	24	0	避難所、備蓄倉庫 駅南の開発を考慮 住宅 ヘリポート
	100	24	0	バス乗降用集合場所・ロータリー	100	24	0	
	100	24	0	多目的・きれいなトイレ	38	24	15	
	96	24	1	施設利用者の無料・安価な駐車場	38	24	15	
	88	24	3	特別改札				
	63	24	9	電中の見送り場所				
②	71	24	7	託児所・学童				
	58	24	10	駅前サービスセンター				
	54	24	11	小児科				
	38	24	15	遠見保育				
③	100	24	0	図書館の巡回				
	8	24	22	図書館				
④	100	24	0	高架駅	100	24	0	コンビニ、ATM、イトイン ちあるたい加盟店 銭湯・食堂（地元産食材使用） 特産品展示販売 マルシェ（期間限定店舗） 本舗、 居酒屋・角打ち カフェ クリーニング 無料駐車場 パン屋 ファストファッション店 洋服修理 レンタルショップ スポーツ用品店 ホテル 図書館 起業支援用低料金ビジネススペース（有期）
	100	24	0	北口混雑の解消（自家用車とのすみ分け）	100	26	0	
	92	24	2	モニュメント「O'way」の活用ができる	100	26	0	
					96	26	1	
					96	26	1	
					88	26	3	
					81	26	5	
					79	24	5	
					73	26	7	
					65	26	9	
					63	24	9	
					62	26	10	
					58	26	11	
					50	26	13	
					42	26	15	
					38	26	16	
				35	26	17		
				35	26	17		

基本目標  
 ①自然と共生する快適なまちづくり  
 ②はつらつと生活できるまちづくり  
 ③豊かな心を育むまちづくり  
 ④にぎわいのあるまちづくり  
 ⑤自立したまちづくり

基本 目標	票 率	分 母	有効 票数	交流の中心 憩いの場	票 率	分 母	有効 票数	情報拠点
①	81	26	5	田原町農産展示台	100	24	0	Wi-Fi
②	54	26	12	サロン				
	42	26	15	子育てサロン				
	38	26	16	小児科				
③	81	26	5	レンタルテナントスペース	100	24	0	町の紹介コーナー 自衛隊紹介コーナー 汽車広場（歴史紹介） 自衛隊アンテナショップ フライトシュミレーター FMサテライトスタジオ 米軍払い下げ品販売
	62	26	10	多目的会議室、サークル、フィットネス	96	24	1	
	62	26	10	イベントスペース（ホール）	92	24	2	
	50	26	13	健康づくりコーナー（血圧、体重）	79	24	5	
	35	26	17	劇場（小ホール）	50	24	12	
	23	26	20	学生広場	42	24	14	
	8	26	24	スポーツの強い大学との連携拠点	17	24	20	
4	26	25	アイススケート					
④	54	24	11	花火大会・航空祭観覧	100	24	0	町の特産品展示
	46	24	13	足湯（観光の目玉となる場所）				
	38	24	15	ふれあい製園（屋上の活用）				
⑤					96	24	1	県・遠賀町アンテナショップ



C班



デザインイメージ

A班	B班	C班
<ul style="list-style-type: none"> <li>古き良きおんが</li> <li>あたたかみのあるイメージ</li> <li>水と緑のイメージ</li> <li>田園風景</li> <li>近代的NG</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたたかみがあり近代的 (例新玉名駅風)。木の存在感</li> <li>調和OK</li> <li><b>その他</b></li> <li>現在の木の戸は自動ドアへ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今のデザインを残す! (例えば、今のデザインで3、4階建)</li> <li>木造調 (周りもレトロな街並みなら今の洋風のデザインでも良い)</li> <li>デザインは古く (これまでの良さ) 構造は最新に</li> </ul>

コンセプト (キャッチコピー)

A班	B班	C班
<p><b>メイン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何~かあったら来ちゃんない</li> <li>何~んもね~でも来ちゃり~♥</li> </ul> <p><b>サブ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠賀まるかじり</li> </ul> <p><b>その他の参考意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠賀まるわかり</li> <li>遠賀の魅力再発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうだ! 遠賀川駅へ行こう! (困った時は駅に行こう)</li> <li>あたたかい駅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠賀川の~んびりレトロ</li> <li>昭和の時を感じるようなレトロ感で...</li> <li>モダン・レトロ</li> <li>ゆるいレトロ</li> </ul>

## 長く愛される施設にするために

A班	B班	C班
<b>利用・情報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>よく利活用する</li> <li>情報をながす</li> </ul> <b>自分の担当業務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいイベントを開催する</li> <li>水害被害の常設展示</li> <li>特産品コーナーを充実させる</li> </ul> <b>行政職員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員による清掃活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用する</li> <li>イベントを開催する</li> <li>SNS拡散</li> <li>(これを機に)『おんが駅』に駅名変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅を利用する</li> <li>駅の施設を利用する</li> <li>あとで何か足す時はデザインをじゃましない</li> <li>看板を外に掲げない</li> <li>全体を調和させる</li> <li>Facebook で自ら拡散する</li> </ul>

## 最終確認（これまで検討してきたもの以外に、施設整備にあたり思うこと等）

A班	B班	C班
<b>駅南開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅南開発の起爆剤に！</li> <li>駅南開発より先に完成</li> </ul> <b>利用しやすい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>使いやすさ重視で</li> <li>便利な施設に</li> <li>駐車場は広く</li> <li>利用者の意見を取り入れることが一番！</li> </ul> <b>これをきっかけに・・・</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致の促進に。駅南開発</li> <li>防災の拠点に（平常時・災害時ともに）</li> </ul> <b>これを目玉に</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠賀町の目玉、代表施設に！</li> </ul> <b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>常に新しいモノを取り入れる！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期実現</li> <li>今後の検討には芦屋町の住民にも参加してもらいたい</li> <li>にぎわい作りの拠点となるように</li> <li>ランニングコストの削減</li> <li>遠賀の将来を担う学生の（10～20代）の意見も取り入れてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のーんびりした雰囲気大切に！</li> <li>ごちゃごちゃした施設にしない</li> <li>今の駅舎のデザインを残す</li> </ul>



#### (4) 区長会

##### ■遠賀川駅周辺にほしい交流施設（住民間の交流や、芦屋基地との交流など）

交通拠点	（特になし）
玄関口、 町の中心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺にコンビニがあった方がよい。</li> <li>・ 交流施設内にはATMがあった方がよい。</li> </ul>
交流の中心 憩いの場	（特になし）
情報拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自衛隊関係のPRに関する展示フロア。但し、勧誘に関する展示はしない。</li> <li>・ 駅前の農協跡地に建設してはどうか。駅前に駐車場を作り階上に自衛隊関係のPRに関する展示場のフロアを作る方法が良いのでは。</li> </ul>

##### ■交流施設や改修する駅舎のデザインイメージ

- ・ 遠賀川の流れをイメージするような駅舎が好ましい。
- ・ 遠賀町の花のスイセンをイメージするような駅舎が好ましい。
- ・ 駅は高架にする。
- ・ 建造物は可能な限り3～4階建てで、安全確保の為、出入り口は1～2カ所。自動入室退出カウンターと監視カメラを設置し、セキュリティーに配慮する。（1カ所は非常口）

##### ■その他遠賀川駅周辺のまちづくりに対する希望やご意見

- ・ 駅南地区に公共施設を持ってくる。（駅南側から遠賀川駅へ寄り付きやすいような仕組み）
- ・ JA跡地に駐車場が整備され、便利ではあるが、先を越されてしまった感じがする。

#### (5) 芦屋基地関係者ヒアリング

遠賀まちづくり支援事業への提案 3術校総務課渉外室 H29.3.8

##### 1 広報

建物そのものの遠賀町と基地との交流のシンボル化

##### (1) 趣旨

建物そのものを遠賀町と基地との交流のシンボルとすることにより、長期にわたり遠賀町と芦屋基地との交流を継続的に広報する。

##### (2) 実施内容

##### ア 建物のネーミング

建物の名前を航空自衛隊芦屋基地をイメージできるものとする。

（例：レッドドルフィン・オンガ・ステーション・プラザ）

---

## イ 装備品・模型等の展示

### (ア) 展示場所

利用客が頻繁に利用する経路及びエントランス

### (イ) 展示方法

- a 当該通路及びエントランスの天井は、青空に雲が浮かんだデザインとする。
- b 柱、壁等に小型のガラス張りの展示窓を複数設け説明文とともに展示
- c 展示物

小型の装備品（操縦桿、水平機等）、ソリッドモデル、操縦者の装備品（航空ヘルメット、飛行服、Gスーツ、救命装具等）、写真（航空機等装備品、航空祭のほか、遠賀町と基地との交流風景（松植樹、おんが夏まつり、おんが子供祭り、レガッタ等））

### (ウ) 当該展示方法等の利点

- a 個別の展示室を設けても、利用客が立ち寄りなければ、見てもらえないが、当該方法であれば、利用客が立ち寄りなくとも、自然と展示物を目にすることになる。また、建物全体と展示スペースを一体化することができる。
- b 大型の展示物は、維持補修に費用が掛かるとともに、更新が難しく、老朽化したイメージを与える場合があるが、小型の展示物は、維持補修の費用が少なく、かつ更新も比較的軽易に実施でき、老朽化したイメージを与え難い。
- c その他、展示窓に余裕がある場合は、遠賀町の特産品（遠賀の赤しそ、遠賀菜種、遠賀のしずく（4号瓶）等）を展示することができ、スペースを有効活用することができる。

## ウ グッズの販売

キヨスク等で次の物品を販売

- ・基地売店で販売しているお土産及びグッズ
- ・芦屋基地所在部隊のエンブレム

## 2 隊員との交流

隊員が行きたくなるような次の施設の設置

### (1) 子供の遊べるスペース

小さな子供が居る自衛官の家族が休日利用したくなるような屋内遊具施設を設置すると、隊員家族が自然と集まり、町民の方々との交流が生まれる。また、遊具の一部に自衛隊関係グッズを加えることにより広報効果も生じる。

- ・子供用パイロットスーツ
- ・記念撮影用航空機写真（壁一面に実物大の写真）
- ・ピクルス君とパセリちゃんグッズ



## (2) フィットネスジム

自衛官の中には、体を鍛えることが好きな隊員が多い。低価格で最新の筋トレ装備（基地の体育館にない種類）や、ランニングマシンを使えるジムがあれば、自然と隊員が集まり、町民の方々との交流が深まる。また、遠賀町民も運動に対する意識が高まり、成人病等の改善にも寄与できる。

## 3 イベント等

- ・ 鼓道による太鼓の演奏（調整による。）
- ・ 多目的ホール等があれば、おんがしガッタ終了後の懇親会
- ・ ドルフィン・フォトクラブによる写真展

## 4 募集関係

- ・ 遠賀町の家族会総会、地域説明会、入隊予定者説明会等の実施
- ・ リーフレット置き場の設置

## 5 防災関連

当該施設周辺で、炊き出し、給水活動を実施する場合、大型車両の駐車スペース及び炊事車等の活動スペースを確保する必要がある。（炊事車等の活動スペースは、雨天を考慮し屋根付きが望ましい。）

## 6 その他

本提案は、遠賀町のまちづくり支援事業の構想作成に対し、実現の可能性がある活動等について意見をまとめたものであり、実際に当該活動等が可能か否かに関しては別途調整を必要とします。

## (6) 庁内検討ワーキング

### [第2回ワーキング]

日 時 : 平成28年12月14日(木) 9:05~9:40

場 所 : 遠賀町役場2階 大会議室

#### 主な意見等:

住民や職員によるワークショップ結果に対する追加意見(青文字)

交通拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用促進には駐車場が必要。建物下を駐車場、屋根付き駐車場(雨に濡れずに利用可能)</li><li>・電車撮影スペース(一般利用と鉄道ファン専用スペース)</li><li>・電車を見ることができるラウンジ(空港ラウンジのようなもの)</li><li>・駅移転に伴い、1階にICカード専用の無人改札ができれば利便性が上がる。</li><li>・自由通路を最大限に生かした建物に。自由通路の降り口付近に改札を設置。</li><li>・自由通路から直接駅舎2階に接続(自動改札必要)など。香椎駅を参考に。</li></ul>
玄関口、 町の中心	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習室</li><li>・学習塾(※学生をターゲットに駅前の地の利活用)</li><li>・コンビニ</li><li>・ドラッグストアがあれば駅との相乗効果が高いと思う。</li><li>・アロマリラックスの部屋</li><li>・移動型店舗出店スペースの確保。屋台やテーマパークにあるトラックの荷台で販売するような感じ。</li><li>・役場移転新庁舎</li></ul>
交流の中心 憩いの場	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校給食提供スペース(地産地消と遠賀町おいしい給食をPR)</li><li>・非常食の試食コーナー(消費期限が近いものを提供、案外おいしい)</li><li>・屋上ビアガーデン</li><li>・交流施設は必ず管理人のいる施設であって欲しい。</li></ul>
情報拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>・町域と芦屋基地のジオラマ(施設等が点灯して場所がわかるもの)</li></ul>

**[第3回ワーキング]**

**日時** : 平成29年1月25日(水) 14:40~15:35

**場所** : 遠賀町役場1階 庁議室

**主な意見等 :**

- 「整備イメージ」は、実現性の高そうなものと、そうでないものを分けた方がよい。  
⇒「整備イメージ」は、「整備方針」よりランクが低く、住民等の意見を例示的に示すものである。今後の検討に活用できるように、少数意見も残させていただく。

- 施設内のスペースは全て無料で使用できるのか？  
⇒現時点ではそこまでは決めていない。

- 補助対象とならない施設を、構想に記載してもよいのか？  
⇒民間施設には補助は入らないので、民間が整備することとなりそうなものが分かるようにする。具体的には、P24の「配置イメージ」を、公共と民間に色分けする。これにあわせて「整備イメージ」も色分けする。

- 民間施設はどのように整備するのか？  
⇒町の単独費で整備することになる。

⇒「整備イメージ」の青文字は、第2回ワーキングで提案いただいた意見である。  
ワーキングメンバーの意向を踏まえ「役場移転新庁舎」のみを削除し、その他は少数意見（灰色塗りつぶし）へ変更する。

⇒基本理念については、①と②が似た内容なので、②のみしかない「防災」を①へ追加する。

- 対象区域は、遠賀川駅の北側だけか？  
⇒南側も含めるため、遠賀川駅周辺とする。

- この施設の必要性を記載すべきではないか？  
⇒住民要望を踏まえた施設など、として追加する。

---

## (7) 検討委員会

### [第1回検討委員会]

日時：平成28年10月6日(木) 13:30~14:35

場所：遠賀町役場2階 大会議室

#### 主な意見等：

##### (1) 交流施設検討の背景・目的

- 島津地区の買入れされた農地を当事業で活用することは可能か？  
⇒可能だが1回しか活用できない事業のため駅前交流施設に適用した。
- 1年で良いので農地にレンゲ草を植えたい。  
⇒別の事業で検討させていただく。
- 駅前に施設を設けても騒音による被害は緩和できないのに事業は活用できるのか？  
⇒それは物理的な対応である。今回は心理的な対応として実施する。

##### (2) 施設整備までの流れ

- 駅前サービスセンターとの関係は？  
⇒新しく整備する交流センターに移る可能性がある。
- 予算の制約はあるのか？  
⇒決まってない。
- つくりたいものをつくっても良いのでは？  
⇒町民や委員等の意見を聞いて検討したい。

##### (3) 本年度の検討体制と流れ

- 庁内の他部署や駅周辺での活動にからむ各団体と情報を共有しながら検討すること。  
施設整備により駅前の活性化につながると思う。  
ワークショップ等に参加しない方の意見を聞くことは大切。  
⇒多くの方の意見を聞くことは大切。パブリックコメントを実施する。検討過程では、区長を通して幅広い意見をきいていきたい。

**[第2回検討委員会]**

**日 時** : 平成28年12月21日(木) 13:30~14:35

**場 所** : 遠賀町役場2階 大会議室

**主な意見等:**

## (1) これまでの検討結果の報告

- 今回は、駅そのものを作り替えるのか、駅周辺を整備するのかどちらなのか？  
⇒駅を含めた周辺一帯を想定。防衛省の補助対象とならないものは国交省の補助等を活用し整備する予定。
- 今回整備する施設は、誰が所有することになるのか？  
⇒改札口の少し外まではJRで、その外側を自治体が運営していることが多い。今回もこのようになると思う。
- 施設運営費用にも補助は付くのか？  
⇒付かない。
- 交流施設の底地はJRの土地となるのか？  
⇒交流施設の底地は購入する予定である。
- デザインイメージには「あたたかみのある施設」とある一方で「屋上ではビアガーデン」とあるが町はどのようなイメージを持っているのか？  
⇒具体的には基本計画となる来年度に詰めさせていただく。今年度は、幅広く意見をいただきたい。
- 駅舎についてJRとは話はしているのか？  
⇒駅はJRに計画してもらうことになるので話はしている。
- 駅前商店街の活性化に向けた取り組みとの連携も大切。その他、子育てや高齢者福祉関係との連携も必要。駅周辺施設の利用が増加するようにしたい。  
⇒市内の検討ワーキングで情報を共有し、関係課との連携を強化していきたい。
- 本町の人口の減少を抑制するためにも生産年齢のことをしっかり考えていくべき。日本一住みたいといわれる北九州は福祉・子育ての評価が高いので、この辺も意識するべき。そのためにも特に女性の意見、現場の声をしっかり聞いてほしい。
- これまで出された意見は幅が広すぎるので絞り込む必要がある。  
⇒遠賀川駅周辺のまちづくりは5つある。①駅と交流施設、②駅南区画整理、③駅前のインキュベーションセンター、④JAの跡地、⑤駅周辺の商店の活性化。検討委員会では①駅と交流施設だが、①~⑤をリンクできるようにしていく。
- こういう構想は、理念や目標が示されて施設が出てくるものであるが、これまでに具体的に多くの機能が提案されている。これらを活かして、みんなが使いやすい施設に、駅が遠賀をイメージできるものであれば良いと思う。

---

### [第3回検討委員会]

日 時 : 平成 29 年 2 月 1 日 (水) 13:30~14:40

場 所 : 遠賀町役場 2 階 大会議室

#### 主な意見等:

##### (1) 芦屋飛行場周辺まちづくり構想(案)について

- 駅南の区画整理と交流施設のゾーニングは一緒に考えていくべき  
⇒平成30年にかけて検討する間に区画整理とのすり合わせを行う。
- 平成 24 年に策定された駅南の区画整理の計画概要があるが、掲載するのは現時点の計画と整合の図れるもののみとしてはどうか?  
⇒できるだけ最新の情報を反映する。
- 基本理念に「何〜んかあったら来ちゃんない!」とあるが、どんなときに行けばよいかイメージがわからない。「あたたかい」や「元気!」も何を意味しているか分からない。何か、役に立つことを具体的に示してはどうか?
- 遠賀町の駅前はさびれているので、補助金をいただき、遠賀町の為になる交流施設を整備し、駅南とも連携がとれ、にぎやかになることは良いこと。
- 施設配置イメージに避難所と備蓄倉庫が示されているが、規模が小さくないか?  
⇒災害時は、建物全体が避難所となる。
- 洪水時の写真はインパクトのあるものがよい。
- ハコモノは失敗が許されないので、活用していただけるようにすることが大切。
- 計画地は、遠賀町の中でも一番良い場所。施設も良いものにしていきたい。  
⇒防衛省の補助で対応することができない駅舎の改築については、別途検討しており、検討結果は逐次報告する。
- 整備イメージ、施設配置イメージに学童保育所とあるが、町の福祉施策で施設は充実しており、駅前には不要。設備の整った託児空間などへ変更してはどうか。図書室もあると、親も子供と一緒に過ごすことができる。  
⇒学童保育所については町民の意向であり残させていただく。いただいたご意見は別途整理する。



**[第4回検討委員会]**

**日 時** : 平成29年3月1日(水) 13:30~14:20

**場 所** : 遠賀町役場 車庫棟2階 第6会議室

**主な意見等:**

(1) 芦屋飛行場周辺まちづくり構想(案)について

- 基地関係者のヒアリングではどのような意見があったのか?  
⇒交流活動への参加が想定される基地内の隊員に確認してくれている。
- 基本理念には「情報発信」に関する言葉があるとよい。  
⇒交流のなかで情報が発信されていく。交流施設なので、発信を強調しなくてもよいのでは。
- 遠賀が入っている「案②」も考えられるが、文字が多いのでインパクトに欠ける。
- 施設のネーミングの募集があれば、「町を愛する」「人と人との待合の場」「であい」の語呂合わせで「まちあいプラザ」を応募したい。  
⇒今回の検討対象は駅ではない。交流施設の基本理念としては『原案』が使いやすい。
- 『原案』から「何～んか・・・」の部分を削除して、「あたたかさ」に加えて「やさしさ」もあるとやわらかくて良い。
- 挙手で決めた方がよいか。
- 前回の委員会で具体的ではないと指摘があったのは「何～んか・・・」の部分なので、『原案』から「何～んか・・・」の部分を削除したもので良いのでは。  
⇒基本理念のあとの整備方針では、基本理念で表現しきれていない部分を補っている。来年度以降の検討で絞り込むので、現時点では選択肢が広いものがよい。原案から「何～んか・・・」の部分を削除したものとさせていただきたい。
- (了解)
- P10の区画整理の構想図に、今回の計画を反映したものは作成しないのか。  
⇒区画整理とは連携はするものの、表現は切り離すということでご理解いただきたい。





芦屋飛行場周辺まちづくり構想 ～遠賀川駅周辺交流施設整備構想～

